NTT

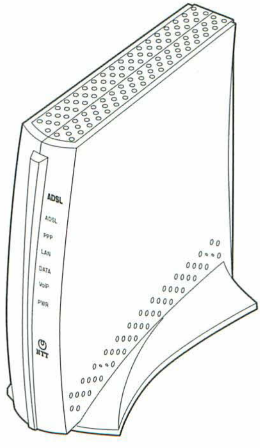
ADSL

ADSLモデム-NVⅡ

取扱説明書

このたびは、ADSLモデム-NVⅡをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

ご使用にあたってのお願い

本商品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本商品は家庭環境で使用することを目的としていますが、本商品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは絶対に行わないでください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品の電話機ポートは、加入電話の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。

【廃棄（または譲渡、返却）される場合の留意事項】
本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

⚠ 警　告

設置場所

● **風呂、シャワー室への設置禁止**
風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。

● **水のかかる場所への設置禁止**
水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
漏電して、火災・感電の原因となります。

こんなときは

● **発煙した場合**
万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

● **水が装置内部に入った場合**
万一、内部に水などが入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。

● **異物が装置内部に入った場合**
本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

⚠ 警　告

- **電源アダプタの取り扱い注意**
  付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。
  また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。

- **電源コードが傷んだ場合**
  電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

- **電源コードの取り扱い注意**
  電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。
  また、重い物を載せたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

- **破損した場合**
  万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

禁止事項

- **たこ足配線の禁止**
  本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。

- **商用電源以外の使用禁止**
  AC100 Vの商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
  差込口が2つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

- **本商品は家庭用のOA機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。**

⚠ 警　告

● **分解改造の禁止**
本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

● **ぬらすことの禁止**
本商品に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
漏電して火災・感電の原因となります。

● **ぬれた手での操作禁止**
ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意

● **異物を入れないための注意**
本商品の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

⚠ 注　意

設置場所

- **火気のそばへの設置禁止**
本商品や電源コードを熱器具に近づけないでください。ケースや電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- **温度の高い場所への設置禁止**
直射日光の当たるところや、温度の高いところ、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

- **油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止**
調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- **不安定な場所への設置禁止**
ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- **本商品を逆さまに置かないでください。**

- **通風孔をふさぐことの禁止**
本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
  - ・横向きに寝かせる
  - ・収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  - ・じゅうたんや布団の上に置く
  - ・テーブルクロスなどを掛ける

- **横置き・重ね置きの禁止**
本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- **温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。**

⚠ 注 意

禁止事項

- **乗ることの禁止**
本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

電源

- **アース線の取り付け**
万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。

- **プラグの取り扱い注意**
電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- **電源アダプタ（電源プラグ）の清掃**
電源アダプタ（電源プラグ）と電源コンセントの間のほこりは、定期的（半年に１回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。

- **長期不在時の注意**
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。

その他のご注意

- **移動させるときの注意**
移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- **雷のときの注意**
雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

- **本書に従って接続してください。**
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所

● 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。
・ほこりや振動が多い場所
・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

禁止事項

● 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。

日頃のお手入れ

● 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。
ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。

お願い

ADSLに関する注意事項

- 実効速度は、パソコンの環境や接続プロバイダ、サーバ、接続時間帯により実際の通信速度とは異なります。
- 設置場所の近くに幹線道路、線路、送電線、送信所など電波を発するものがある場合は、十分な通信速度が出ないか、またはADSL回線による接続が途切れたりすることがあります。
- 保安器の種類等によっては、加入電話として着信があった場合、ADSL回線による接続が途切れることがあります。
- 次のような場合は、速度が遅くなることがあります。
  - ・ISDN回線などのノイズ源がある場合
  - ・配線のルート変更で距離が伸びた場合
  - ・加入電話の音声信号にデータを重畳させている場合
  - ・ADSLスプリッタで分離していても配線状況が悪い場合
- ADSLのサービス提供地域であっても、設備・回線等の都合により本商品をご利用になれない場合があります。
- 遠隔検針（ノーリンギング通信サービス）や警備保障、回線自動選択装置（ACR等）の加入電話回線を利用したサービスを利用されている場合、それらのサービスに支障をきたす場合があります。
- ADSL区間の距離や設備状況、他回線からの影響、お客様宅内で接続されている通信設備（ACR等）の影響により、最大通信速度が当初より得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- ADSLによるインターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入及び情報搾取等の危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコン上にファイアウォールのソフトウェアをインストールする等の対応をお願いいたします。

お願い

電話機能に関する注意事項

〔IP 電話と加入電話の選択〕

- 本商品に接続した電話機からは、IP 電話および加入電話を利用することができます。
- IP 電話として通話しているか加入電話として通話しているかは、本商品の VoIP ランプまたは発信時にハンドセットから聞こえる音により識別できます。

〔IP 電話の利用〕

- IP 電話をご利用いただくためには、プロバイダ等との IP 電話サービス契約および本商品への IP 電話設定が必要です。なお、本商品がインターネットに接続されていない場合やプロバイダ等のサーバと通信できる状態にない場合、IP 電話は利用できません。
- IP 電話はプロバイダ等が提供するサービスです。IP 電話のサービス内容や利用料金等を、ご契約されるプロバイダ等に必ずご確認ください。
- IP 電話として通話した場合の通話料金はプロバイダ等から請求されます。また、IP 電話として通話した場合に相手先に通知できる発信者番号は、プロバイダ等から付与された IP 電話番号です。
- IP 電話として接続できない通話（IP 電話サービス対象外の番号をダイヤルした場合等）は、加入電話としての発信に自動切替されることがあります。自動切替される条件はご契約された IP 電話サービスによって異なりますので、プロバイダ等にご確認ください。
- IP 電話の通話品質は、下記のような場合に劣化することがあります。
  - ・ADSL 回線の接続状況によって十分な帯域が確保できない場合
  - ・インターネットで十分な帯域が確保できない場合
  - ・本商品に接続しているパソコンで、ファイル転送やストリーミングサービスのような大きな帯域を必要とするサービスを使用中の場合

お願い

- IP電話でファクスやアナログモデム通信を行った場合、あるいは音声ガイド等で通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。確実に通信したい場合には、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを４回）をつけてダイヤルし、加入電話をご利用ください。
- 加入電話回線に着信があった場合、ADSL回線による接続が途切れることがあります。ADSL回線による接続が途切れると、IP電話通話中の場合は通話が切断されます。
- IP電話通話中に本商品の電源が切れた場合や再起動された場合は、通話が切断されます。
- 本商品に接続している電話機のACR等の機能が動作している場合、IP電話が使用できない場合があります。ACR等の機能によって加入電話としての通話になった場合は、加入電話の通話料金がかかります。必ず電話機のACR等の機能は停止させてください。

〔加入電話の利用〕

- 加入電話をご利用いただくためには、加入電話の契約および本商品への加入電話回線の接続が必要です。
- 緊急通話（110番や119番等）等、一部の電話番号（※）をダイヤルした場合は、必ず加入電話としての発信になります。本商品に加入電話回線が接続されていないと通話できませんのでご注意ください。
  ※他に113、116、117、177等の1から始まる3桁番号や#で始まる番号。ただし、184、186は除きます。
- 加入電話として通話した場合の通話料金は、NTT東日本・NTT西日本またはマイライン（マイラインプラス）に登録された電話会社から請求されます。
- 意図的に加入電話として発信したい場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを４回）をつけてダイヤルしてください。
- なんらかの事情によりIP電話がご利用いただけない場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを４回）をつけてダイヤルすることにより加入電話として通話することができます。

お願い

- 次の場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを４回）をつけずにダイヤルしてください。すべて加入電話として発信します。
  - ・停電時および本商品の電源が切れている場合
  - ・本商品の IP 電話の設定がされていない場合（本商品の VoIP ランプが消灯している場合）
  - ・本商品の IP 電話設定が IP 電話利用停止状態の場合（本商品の VoIP ランプが橙点灯している場合）

お客様情報に関する注意事項

- 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を被る恐れがありますので、データの管理には十分お気をつけください。
- 本商品を廃棄（または譲渡、返却等）される際は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。
- 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順に従って実施してください。

目次

「機能詳細ガイド」目次

付属CD-ROMには、本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」がHTMLファイルで収録されています。ここではその概要を示します。電子マニュアルの見かたについては、18ページを参照してください。

マニュアルの読み進めかた

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的にあわせてお読みください。

●取扱説明書（本書）
本商品の接続のしかた、インターネット接続の設定方法、お問い合わせ先などを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。

●機能詳細ガイド（ CD-ROM ：HTML ファイル）
本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

本商品を使用して、インターネットに接続し、IP 電話を利用するまでの流れは、下記のようになります。

付属品の確認をします
『1-1 セットを確認してください』（☛ 本書 1-2 ページ）

▼

取り付けます
『1-4 設置・接続の流れ』（☛ 本書 1-6 ページ）

▼

パソコンの設定を行います
『2 パソコンのネットワーク設定』（☛ 本書 2-1 ページ）
※パソコンを購入したままの状態でお使いの場合は必要ありません。

▼

インターネットにつなぐための設定をします
『3-1 本商品の設定をする（ADSL モデム内蔵ルータとして利用する場合）』（☛ 本書 3-2 ページ）
『3-2 本商品の設定をする（ADSL モデムとして利用する場合）』（☛ 本書 3-4 ページ）

▼

インターネットにつなぎます
『3-3 インターネットに接続する（ADSL モデム内蔵ルータとして利用する場合）』（☛ 本書 3-5 ページ）
『3-4 インターネットに接続する（ADSL モデムとして利用する場合）』（☛ 本書 3-6 ページ）

▼

IP 電話を利用するための設定をします
『4-1 IP 電話の設定について』（☛ 本書 4-2 ページ）
『4-2 電話機能の設定について』（☛ 本書 4-4 ページ）

▼

IP 電話を利用します
『4-3 IP 電話の使いかた』（☛ 本書 4-6 ページ）

※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによって異なります。

CD-ROMに収録されたマニュアルの見かた

1 CD-ROMをパソコンにセットしてください。

2 Acrobat® Readerを起動して「取扱説明書」のファイルを開いてください。

3 Webブラウザ（Internet Explorer）を起動して「機能詳細ガイド」のファイルを開いてください。

お願い

●Acrobat® Readerをインストールされていない場合は、付属のCD-ROMに収録されているAcrobat® Readerをインストールしてください。

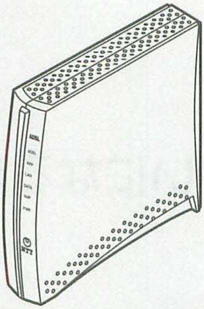
Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Windows® XPは、Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemの略です。
Windows® 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。
Windows® Meは、Microsoft® Windows® Millennium Edition operating systemの略です。
Windows® 98SEは、Microsoft® Windows® 98 operating system Second Editionの略です。
Mac®、Macintosh®は、米国その他の国で登録された米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
Acrobat® Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
JavaScript®は、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。
付属品のCD-ROMは日本語版OS以外の動作保証はしていません。
付属品のCD-ROMはソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

1 お使いになる前に

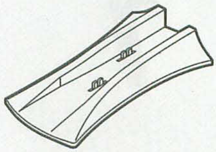
この章では、付属品や各部の名称、お使いになる前に確認していただきたいことや取り付けかたを説明します。

1-1 セットを確認してください

■本体

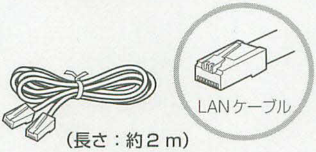


ADSL モデム-NVⅡ（1 台）



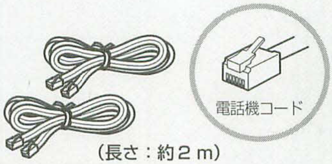
スタンド（1 台）

■付属品



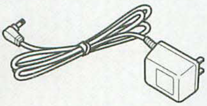
（長さ：約 2 m）

LAN ケーブル（ストレート 1 本）



（長さ：約 2 m）

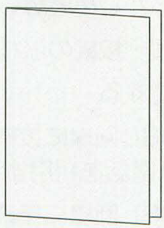
電話機コード（2 本）



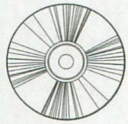
電源アダプタ（1 個）



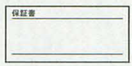
取扱説明書
（本書 1 冊）



かんたん接続・設定
（1 枚）

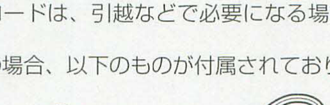


CD-ROM（1 枚）



保証書（1 枚）
（レンタルの場合は付属されていません）

- ●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- ●アース線は付属していません。
- ●お使いにならない電話機コードは、引越などで必要になる場合がありますので大切に保管してください。
- ●ADSL スプリッタセットの場合、以下のものが付属されております。



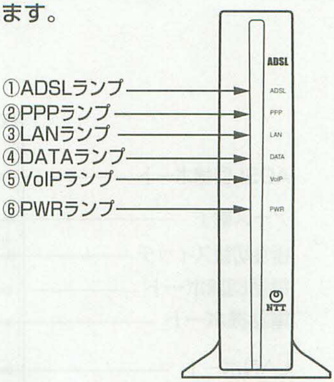
（長さ：約 20 cm）

ADSL スプリッタ（1 個）

1-2 各部の名前

本商品各部の名前および機能を説明します。

●前面図



【ランプ表示】

■前面

ランプの名称		表示（色）		機能説明
ADSL回線ポート状態表示ランプ	① ADSL ランプ	緑	点灯	ADSL 回線のリンクが確立しています。
			遅い点滅	ADSL 回線の信号検出待ちです。（0.4 秒間隔）（*2）
			速い点滅	ADSL 回線のトレーニング中です。（0.2 秒間隔）（*2）
	② PPP ランプ（*1）	緑	点灯	PPP のリンクが確立しています。（*3）
			遅い点滅	PPP の認証が失敗しました。（1 秒間隔）（*2）
			速い点滅	相手先から応答がありません。（*2）
		ー	消灯	PPP のリンクが確立していません。
LANポート状態表示ランプ	③ LAN ランプ	緑	点灯	LAN ポートのリンクが確立しています。
		ー	消灯	LAN ポートのリンクが確立していません。
	④ DATA ランプ	緑	点灯	LAN ポートでデータの送受信をしています。
		ー	消灯	LAN ポートでデータの送受信をしていません。
IP電話状態表示ランプ	⑤ VoIP ランプ	緑	点灯	IP 電話が利用できます。
			点滅	IP 電話として通話中です。
		橙	点灯	IP 電話は利用停止状態です。
			点滅	加入電話として通話中です。
		赤	点灯	IP 電話が利用できません。
			点滅	加入電話回線の極性が反転しています。
		ー	消灯	IP 電話の設定がされていません。
電源ランプ	⑥ PWR ランプ	緑	点灯	電源が入っています。
		ー	消灯	電源が切れています。

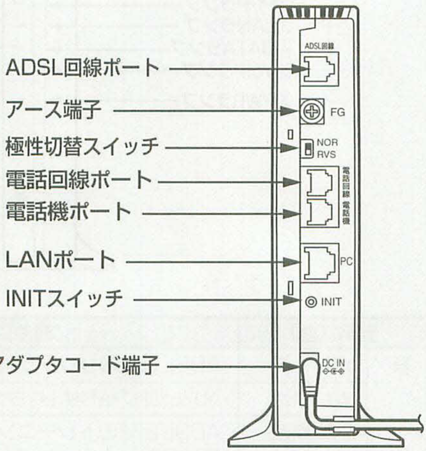
（*1）本商品を ADSL モデムとしてご利用の場合は、PPP ランプは消灯したままです。

（*2）ラインモードの拡張自動設定でリンク速度を接続確認中は、ADSL ランプと PPP ランプが同時に緑点滅します。

（*3）本商品起動時に数秒間緑点灯します。（セルフテスト実行中）

※本商品が工場出荷状態（初期化された状態）の場合、電源を入れるとセルフテスト実行により、PPP ランプが数秒間緑点灯後、本商品の全ランプが約 5 秒間緑点灯します。

●背面図



■背面

名称	表示	機能説明
ADSL 回線ポート	ADSL 回線	電話機コード（付属品）を使用して ADSL スプリッタの MODEM ポートと接続するためのポートです。(6 ピンモジュラージャック)
アース端子	FG	アース線を接続するための端子です。(ネジ径は 4.0 mm)
極性切替スイッチ	NOR RVS	加入電話回線（電話回線ポート）の極性を切り替えます。
電話回線ポート	電話回線	電話機コード（付属品）を使用して ADSL スプリッタの PHONE ポートと接続するためのポートです。
電話機ポート	電話機	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。
LAN ポート	PC	LAN ケーブル（付属品）を使用してパソコンと接続するためのポートです。(100BASE-TX/10BASE-T (8 ピンモジュラージャック))
INIT スイッチ	INIT	設定を初期化するために使用するスイッチです。
電源アダプタコード端子	DC IN	電源アダプタのコードを差し込みます。

1-3 あらかじめ確認してください

パソコンの準備

● LANポートの準備

本商品と接続する端末機器（パソコンなど）には、LANポート（100BASE-TXまたは10BASE-T）が必要です。お使いのパソコンなどにLANポートがない場合は、100BASE-TX/10BASE-T対応のLANボードまたはLANカードをあらかじめご準備ください。LANボードまたはLANカードの取り付けとドライバのインストールは、LANボードまたはLANカードの取扱説明書に従って正しく行ってください。

● ファイアウォールなど、全てのソフトウェアの終了

本商品設定の前にファイアウォール、ウィルスチェック等のソフトウェアは終了させてください。動作させたままでいると、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。

Webブラウザの準備

本商品は、Webブラウザで設定を行います。
Webブラウザによる設定では、以下の点に注意してください。

● Webブラウザは、下記のバージョンに対応しています。

Windows® XP/2000/Me/98SEの場合
・Microsoft® Internet Explorer Ver.5.5以上に対応

Mac® OS X/9.x/8.xの場合
・Microsoft® Internet Explorer Ver.5.0以上に対応

● WebブラウザやOSの設定でプロキシサーバを使用する設定になっていると正しく表示や操作ができないことがあります。

● お使いのWebブラウザの設定でJavaScript®を有効にしてください。

● ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの［インターネットのプロパティ］の［接続］で［ダイヤルしない］を選択してください。

● お使いのWebブラウザによっては、Webブラウザによる設定画面の［閉じる］をクリックしてもウィンドウが閉じないことがあります。メニューの［ファイル］から［ウィンドウを閉じる］または［閉じる］を選択して閉じてください。

● お使いのWebブラウザやWebブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Webブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。

※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いのWebブラウザやお使いのOSバージョンによって異なります。

1-4 設置・接続の流れ

本商品の設置のしかたから、本商品を電話機やADSLスプリッタと接続するまでの流れを説明します。

本商品にスタンドを付ける

本書『1-5　設置する』（☛1-7ページ）を参照してください。

↓

本商品を設置する

本書『1-5　設置する』（☛1-7ページ）を参照してください。

↓

IP電話を利用する場合

- 加入電話の契約をしている場合（電話共用型またはタイプ1契約の場合）
  → 『1-6　ADSL回線に接続する（IP電話を利用する）』「加入電話を利用する場合」（☛1-8ページ）を参照してください。
- 加入電話の契約をしていない場合（ADSL専用型またはタイプ2契約の場合）
  → 『1-6　ADSL回線に接続する（IP電話を利用する）』「加入電話を利用しない場合」（☛1-11ページ）を参照してください。

IP電話を利用しない場合

- 加入電話の契約をしている場合（電話共用型またはタイプ1契約の場合）
  → 『1-7　ADSL回線に接続する（IP電話を利用しない）』「加入電話を利用する場合」（☛1-13ページ）を参照してください。
- 加入電話の契約をしていない場合（ADSL専用型またはタイプ2契約の場合）
  → 『1-7　ADSL回線に接続する（IP電話を利用しない）』「加入電話を利用しない場合」（☛1-15ページ）を参照してください。

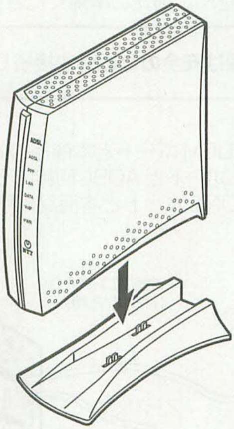
お知らせ

- **「ADSLモデムとして利用する場合」の手順に従って設定した場合は、IP電話機能をご利用できません。**IP電話機能を利用する場合は、必ず「ADSLモデム内蔵ルータとして利用する場合」の手順に従って設定してください。

1-5 設置する

スタンドを付ける

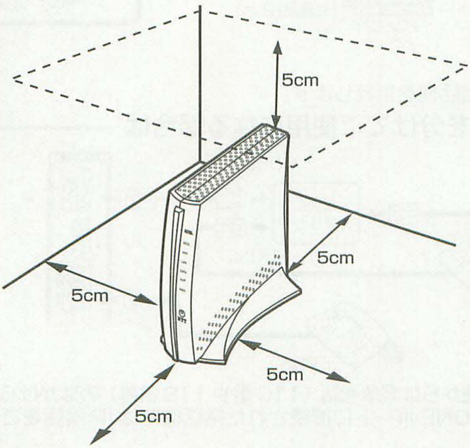
図のように、本商品本体に付属のスタンドを付けて縦置きでご使用ください。



> ⚠ **注意**
>
> 本商品は横置きでのご使用はできません。

本商品を設置する

本商品は、前後左右5cm、上5cm以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。



> ⚠ **注意**
>
> 換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

冷蔵庫やTV等、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。ADSL回線が切れたり、十分な速度が出ないことがあります。

1-6 ADSL 回線に接続する（IP 電話を利用する）

加入電話を利用する場合

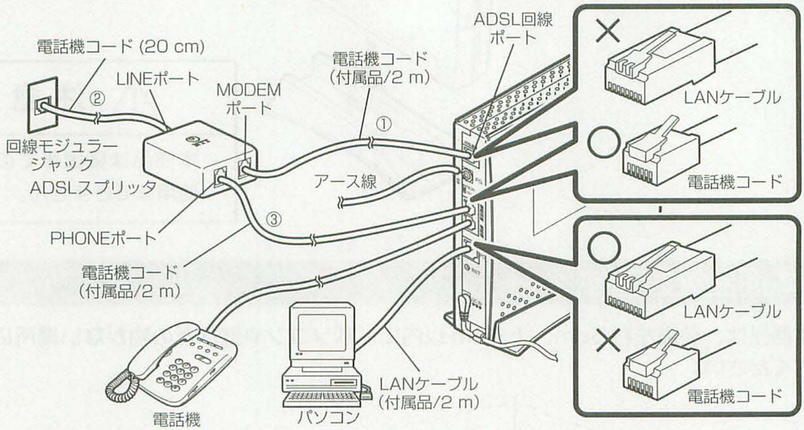
1 **アース線を接続する**

アース線は付属されていません。別途ご準備ください。

⚠ 警告	アース線は安全のため必ず接続してください。

2 **ADSL 回線に接続する**

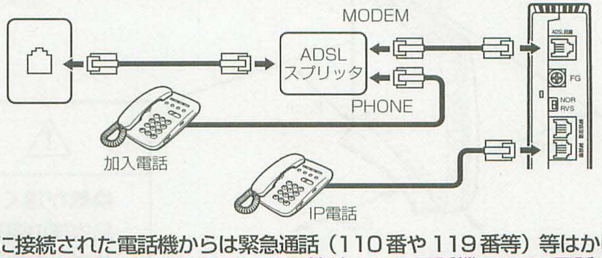
① ADSL スプリッタの MODEM ポートと本商品の ADSL 回線ポートを接続します。
② ADSL スプリッタの LINE ポートと ADSL 回線のモジュラージャックを接続します。
③ ADSL スプリッタの PHONE ポートと本商品の電話回線ポートを接続します。



3 **電話機を接続する**

本商品の電話機ポートに電話機を接続します。

IP 電話と加入電話を分けてご使用になる場合は

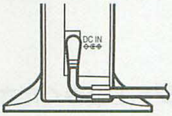


本商品に接続された電話機からは緊急通話（110 番や 119 番等）等はかけられません。ADSL スプリッタの PHONE ポートに接続された電話機では IP 電話をご利用できません。

4 **パソコンを接続する**

本商品の LAN ポートにパソコンを接続します。
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

5 電源コードを接続する



接続したコードはフックにかけてご使用ください。
このとき電源アダプタは壁などの電源コンセントに差し込まないでください。

⚠ 警告	付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。

6 電源アダプタを壁などの電源コンセントに差し込む

PWRランプが緑点灯します。

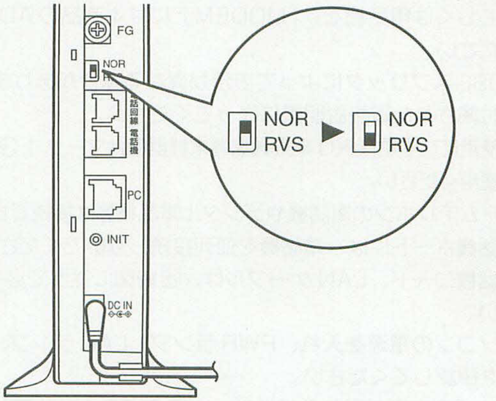
7 VoIPランプが消灯していることを確認する

VoIPランプが赤点滅している場合は

加入電話回線の極性が反転しています。この状態では、電話機によっては着信音が鳴らない場合や、以下のサービスなどが正常に動作しない場合があります。

・ナンバー・ディスプレイ（ネーム・ディスプレイ）
・Lモード「メッセージ到着お知らせ機能」
・ダイヤルイン（モデムダイヤルイン）
（2004年1月現在、NTT東日本・NTT西日本での加入電話付加サービス）

その場合は、本商品背面の極性切替スイッチを逆に切り替えてください。



スイッチ切り替え後VoIPランプが消灯していることを確認してください。

⚠ 注意	VoIPランプの確認、および極性切替スイッチの切り替え（VoIPランプが赤点滅のときのみ）は、必ずIP電話設定をする前に行ってください。 いったん、IP電話設定をすると加入電話回線の極性が反転していても、PPPランプの緑点灯のあとにVoIPランプの赤点滅が停止します。

（次ページに続く）

8 ADSLランプが速い緑点滅を開始し、数十秒後緑点灯に変わることを確認する

ADSLランプが緑点灯に変わらない場合は、本書の『5-1　故障かな？と思ったら』(☛5-2ページ）を参照のうえ、対処してください。

➡ **正常に緑点灯することを確認したら、2-2ページへお進みください。**

お知らせ

- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ADSL回線で加入電話を利用するには、ADSLスプリッタが必要です。スプリッタは当社指定のスプリッタを使用してください。スプリッタセットの場合は、付属のADSLスプリッタをご使用ください。それ以外のスプリッタを使用した場合、正常に動作しないことがあります。ADSLスプリッタはイラストと形状が異なる場合があります。
- ADSLスプリッタの「LINE」にはADSL回線を、「PHONE」には本商品の電話機ポートもしくは電話機を、「MODEM」には本商品のADSL回線ポートをそれぞれ接続してください。
  ADSLスプリッタによって表示が異なる場合があります。その場合はADSLスプリッタに付属された取扱説明書に従ってください。
- ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「Ⓣ」または「㊌」がついているものをご使用ください。
- ホームテレホンの電話機やデジタル電話機等は接続できません。
- 電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- 電話機コード、LANケーブルは、接続図に従って必ず本商品に付属のものをご利用ください。
- パソコンの電源を入れ、PWRランプ、LANランプ、ADSLランプが緑点灯していることを確認してください。
  ランプの状態が異なる場合は、本書の『5-1　故障かな？と思ったら』(☛5-2ページ)を参照してください。
  ADSLランプはADSL回線に接続してから30秒～5分程度で緑点灯します。ラインモードの拡張自動設定でリンク速度を接続確認中は、ADSLランプとPPPランプが同時に緑点滅し、ADSLランプが緑点灯するまで5～10分ほどかかる場合が場合があります。
- ADSL回線の開通工事が完了していない場合、ADSLランプは遅い緑点滅のままで緑点灯しません。

加入電話を利用しない場合

加入電話を利用しない場合は、本商品を直接 ADSL 回線に接続します。
本商品に接続された電話機からは緊急通話（110 番や 119 番等）等は、かけられません。

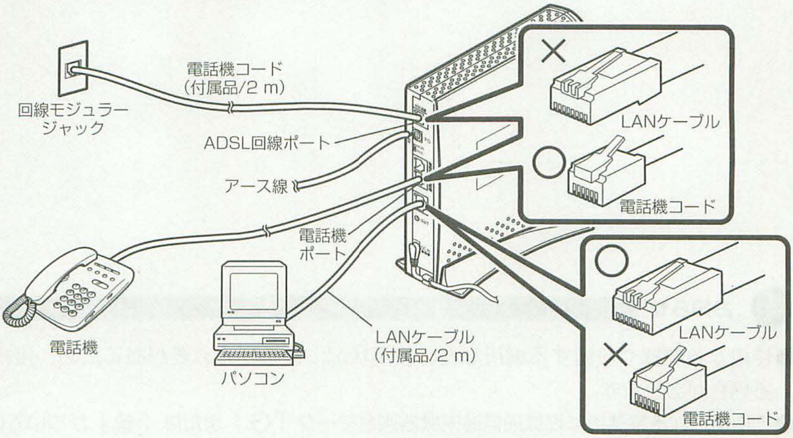
1 アース線を接続する

アース線は付属されていません。別途ご準備ください。

⚠ 警告	アース線は安全のため必ず接続してください。

2 本商品の ADSL 回線ポートと ADSL 回線のモジュラージャックを接続する

接続するコネクタを間違えないようにしてください。



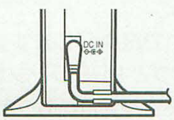
3 電話機を接続する

本商品の電話機ポートに電話機を接続します。

4 パソコンを接続する

本商品の LAN ポートにパソコンを接続します。
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

5 電源コードを接続する



接続したコードはフックにかけてご使用ください。
このとき電源アダプタは壁などの電源コンセントに差し込まないでください。

⚠ 警告	付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。

（次ページに続く）

1 お使いになる前に

6 電源アダプタを壁などの電源コンセントに差し込む

PWRランプが緑点灯します。

7 ADSLランプが速い緑点滅を開始し、数十秒後緑点灯に変わることを確認する

ADSLランプが緑点灯に変わらない場合は、本書の『5-1　故障かな？と思ったら』(☛5-2ページ）を参照のうえ、対処してください。

➡ **正常に緑点灯することを確認したら、2-2ページへお進みください。**

お知らせ

- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「Ⓣ」または「㊤」がついているものをご使用ください。
- ホームテレホンの電話機やデジタル電話機等は接続できません。
- 電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- 電話機コード、LANケーブルは、接続図に従って必ず本商品に付属のものをご利用ください。
- パソコンの電源を入れ、PWRランプ、LANランプ、ADSLランプが緑点灯していることを確認してください。
  ランプの状態が異なる場合は、本書の『5-1　故障かな？と思ったら』(☛5-2ページ)を参照してください。
  ADSLランプはADSL回線に接続してから30秒～5分ぐらいで緑点灯します。ラインモードの拡張自動設定でリンク速度を接続確認中は、ADSLランプとPPPランプが同時に緑点滅し、ADSLランプが緑点灯するまで5～10分ほどかかる場合が場合があります。
- ADSL回線の開通工事が完了していない場合、ADSLランプは遅い緑点滅のままで緑点灯しません。

1-7 ADSL回線に接続する（IP電話を利用しない）

加入電話を利用する場合

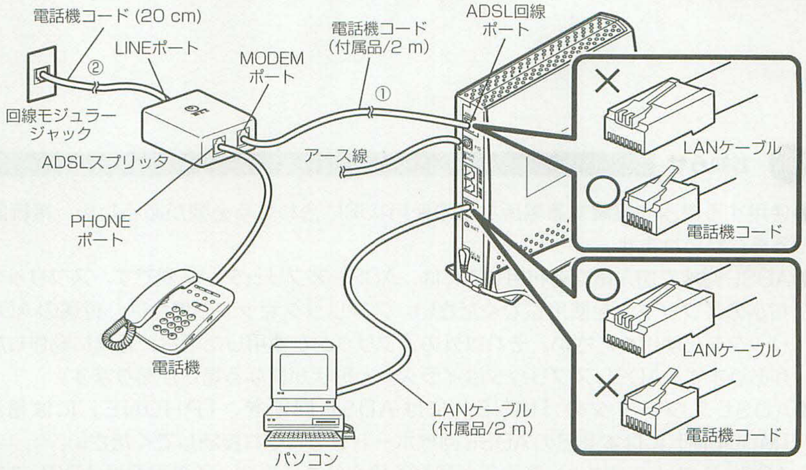
1 アース線を接続する

アース線は付属されていません。別途ご準備ください。

⚠ 警告	アース線は安全のため必ず接続してください。

2 ADSL回線に接続する

① ADSLスプリッタのMODEMポートと本商品のADSL回線ポートを接続します。
② ADSLスプリッタのLINEポートとADSL回線のモジュラージャックを接続します。



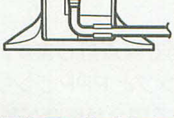
3 電話機を接続する

ADSLスプリッタのPHONEポートに電話機を接続します。

4 パソコンを接続する

パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

5 電源コードを接続する



接続したコードはフックにかけてご使用ください。
このとき電源アダプタは壁などの電源コンセントに差し込まないでください。

⚠ 警告	付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。

6 電源アダプタを壁などの電源コンセントに差し込む

PWRランプが緑点灯します。

（次ページに続く）

7 ADSLランプが速い緑点滅を開始し、数十秒後緑点灯に変わることを確認する

ADSLランプが緑点灯に変わらない場合は、本書の『5-1　故障かな？と思ったら』(☛5-2ページ）を参照のうえ、対処してください。

➡ **正常に緑点灯することを確認したら、2-2ページへお進みください。**

お知らせ

- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ADSL回線で加入電話を利用するには、ADSLスプリッタが必要です。スプリッタは当社指定のスプリッタを使用してください。スプリッタセットの場合は、付属のADSLスプリッタをご使用ください。それ以外のスプリッタを使用した場合、正常に動作しないことがあります。ADSLスプリッタはイラストと形状が異なる場合があります。
- ADSLスプリッタの「LINE」にはADSL回線を、「PHONE」には電話機を、「MODEM」には本商品のADSL回線ポートをそれぞれ接続してください。
  ADSLスプリッタによって表示が異なる場合があります。その場合はADSLスプリッタに付属された取扱説明書に従ってください。
- ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「Ⓣ」または「㊤」がついているものをご使用ください。
- ホームテレホンの電話機やデジタル電話機等は接続できません。
- 電話機コード、LANケーブルは、接続図に従って必ず本商品に付属のものをご利用ください。
- パソコンの電源を入れ、PWRランプ、LANランプ、ADSLランプが緑点灯していることを確認してください。
  ランプの状態が異なる場合は、本書の『5-1　故障かな？と思ったら』(☛5-2ページ)を参照してください。
  ADSLランプはADSL回線に接続してから30秒～5分ぐらいで緑点灯します。ラインモードの拡張自動設定でリンク速度を接続確認中は、ADSLランプとPPPランプが同時に緑点滅し、ADSLランプが緑点灯するまで5～10分ほどかかる場合が場合があります。
- ADSL回線の開通工事が完了していない場合、ADSLランプは遅い緑点滅のままで緑点灯しません。

加入電話を利用しない場合

加入電話を利用しない場合は、本商品を直接 ADSL 回線に接続します。

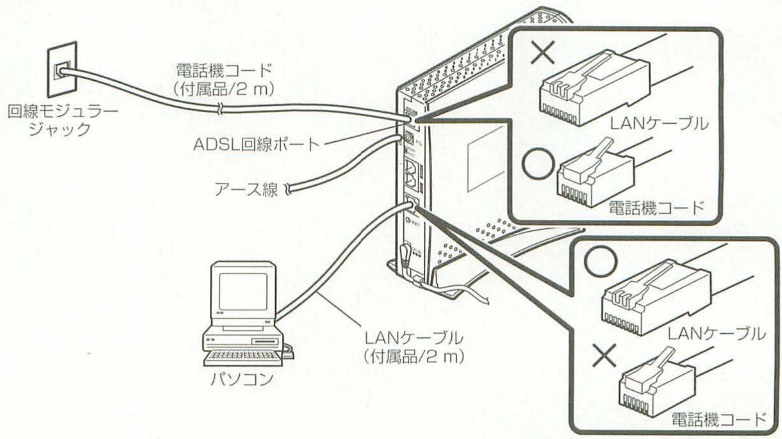
1　アース線を接続する

アース線は付属されていません。別途ご準備ください。

⚠ 警告	アース線は安全のため必ず接続してください。

2　本商品の ADSL 回線ポートと ADSL 回線のモジュラージャックを接続する

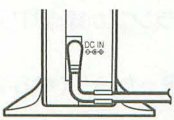
接続するコネクタを間違えないようにしてください。



3　パソコンを接続する

パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。

4　電源コードを接続する



接続したコードはフックにかけてご使用ください。
このとき電源アダプタは壁などの電源コンセントに差し込まないでください。

⚠ 警告	付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。

（次ページに続く）

5 電源アダプタを壁などの電源コンセントに差し込む

PWRランプが緑点灯します。

6 ADSLランプが速い緑点滅を開始し、数十秒後緑点灯に変わることを確認する

ADSLランプが緑点灯に変わらない場合は、本書の『5-1　故障かな？と思ったら』(☛5-2ページ）を参照のうえ、対処してください。

➡ **正常に緑点灯することを確認したら、2-2ページへお進みください。**

お知らせ

- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- 電話機コード、LANケーブルは、接続図に従って必ず本商品に付属のものをご利用ください。
- パソコンの電源を入れ、PWRランプ、LANランプ、ADSLランプが緑点灯していることを確認してください。
  ランプの状態が異なる場合は、本書の『5-1　故障かな？と思ったら』(☛5-2ページ）を参照してください。
  ADSLランプはADSL回線に接続してから30秒～5分ぐらいで緑点灯します。ラインモードの拡張自動設定でリンク速度を接続確認中は、ADSLランプとPPPランプが同時に緑点滅し、ADSLランプが緑点灯するまで5～10分ほどかかる場合が場合があります。
- ADSL回線の開通工事が完了していない場合、ADSLランプは遅い緑点滅のままで緑点灯しません。

2 パソコンのネットワーク設定

インターネットに接続するためには、パソコンのネットワークの設定が必要です。本商品に接続するパソコンに必要な設定について説明します。

本章の設定画面は、DHCP サーバ機能を使用する場合の設定例です。DHCP サーバ機能は工場出荷時に「有効にする」になっています。

2

2-1 パソコン設定の流れ

本商品は、ADSL モデム内蔵ルータまたは、ADSL モデムのどちらとしてもご利用になれます。
ADSL モデム内蔵ルータとして利用する場合と、ADSL モデムとして利用する場合のパソコン設定の流れを説明します。

ADSL モデム内蔵ルータとして利用する場合
例)・複数のパソコンからインターネットを利用する場合
・IP 電話サービスを利用する場合

ADSL モデムとして利用する場合
例)・パソコンでフレッツ接続ツールなどを利用する場合
・ブロードバンドルータを接続して利用する場合

ADSL モデム内蔵ルータとして利用する場合

ADSL モデムとして利用する場合

パソコンの設定
『2-2 ADSL モデムとして利用する場合のパソコン設定』 (☛2-3 ページ)

本商品の設定変更や状態確認をしたい場合は、追加でパソコンのネットワーク設定が必要となります。

パソコンのネットワーク設定
・Windows® XP をご利用の場合 (☛2-4 ページ)
・Windows® 2000 をご利用の場合 (☛2-5 ページ)
・Windows® Me/98SE をご利用の場合 (☛2-6 ページ)
・Mac® OS をご利用の場合 (☛2-8 ページ)

本商品の設定をする
『3-1 本商品の設定をする (ADSL モデム内蔵ルータとして利用する場合)』 (☛3-2 ページ)

本商品の設定をする
『3-2 本商品の設定をする (ADSL モデムとして利用する場合)』 (☛3-4 ページ)

インターネットに接続する
(☛3-5 ページ)

インターネットに接続する
フレッツ・ADSL 超カンタン設定ガイドなどをご覧ください。
(☛3-6 ページ)

お知らせ

- **「ADSL モデムとして利用する場合」の手順に従って設定した場合は、IP 電話機能をご利用できません。** IP 電話機能を利用する場合は、必ず「ADSL モデム内蔵ルータとして利用する場合」の手順に従って設定してください。
- IP 電話機能をご利用の場合は、『4 IP 電話の使いかた』(☛4-1 ページ) をよく読んで、インターネット接続後に、IP 電話の設定を行ってください。

2-2 ADSLモデムとして利用する場合のパソコン設定

ADSLモデムとして利用する場合のパソコンの設定については、「フレッツ・ADSL超カンタン設定ガイド」などをご覧ください。

※本商品に「フレッツ・ADSL超カンタン設定ガイド」は、同梱されていません。

続けて **3-6ページ**へお進みください。

本商品の設定変更や状態確認をしたい場合は、追加でパソコンネットワークの設定が必要になります。

パソコンのネットワーク設定

- **Windows® XPをご利用の場合**
  →『2-3 Windows® XPをご利用の場合』(☛2-4ページ)を参照してください。
- **Windows® 2000をご利用の場合**
  →『2-4 Windows® 2000をご利用の場合』(☛2-5ページ)を参照してください。
- **Windows® Me/98SEをご利用の場合**
  →『2-5 Windows® Me/98SEをご利用の場合』(☛2-6ページ)を参照してください。
- **Mac® OSをご利用の場合**
  →『2-6 Mac® OSをご利用の場合』(☛2-8ページ)を参照してください。

2-3 Windows® XP をご利用の場合

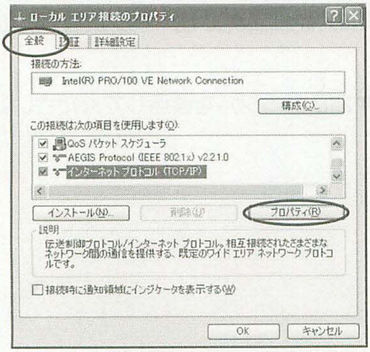
Windows® XP の設定により表示内容が異なる場合があります。

1 [スタート] − [コントロールパネル] を選択する

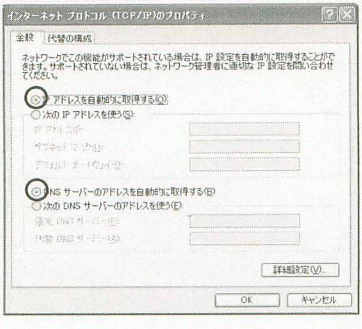
2 [ネットワークとインターネット接続] をクリックし、[ネットワーク接続] をクリックする

3 [ローカルエリア接続] を右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 [全般] タブをクリックし、[インターネットプロトコル(TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



5 [IP アドレスを自動的に取得する] と [DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する

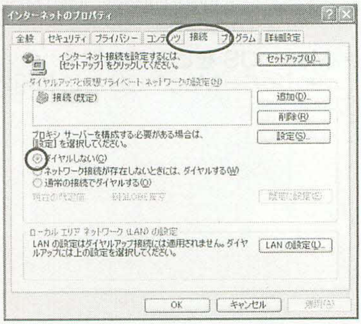


6 [OK] をクリックする

7 [OK] または [閉じる] をクリックする

8 [戻る] をクリックし、[ネットワークとインターネット接続] 画面の [インターネットオプション] をクリックする

9 [接続] タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は [ダイヤルしない] を選択する



10 [OK] をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

続けて **2-9** ページへお進みください。

お知らせ

● 本書では、Windows® XP の通常表示モード（カテゴリー表示モード）を前提に記載しています。

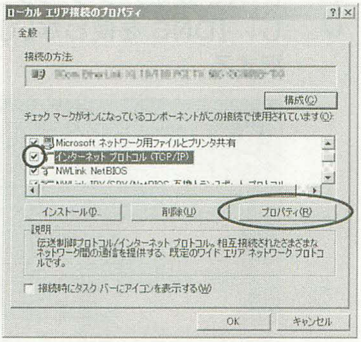
2-4 Windows® 2000をご利用の場合

1 [スタート] − [設定] − [コントロールパネル] を選択する

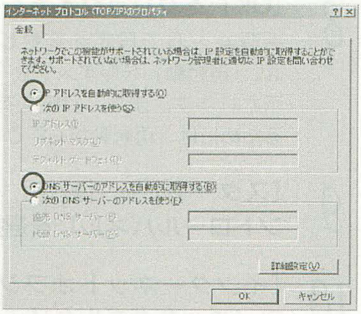
2 [ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックする

3 [ローカルエリア接続] アイコンを右クリックし、[プロパティ] をクリックする

4 リストの [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックする



5 [IPアドレスを自動的に取得する] と [DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する] を選択する



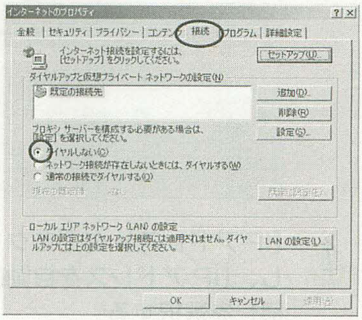
6 [OK] をクリックする

7 [OK] をクリックする

8 [スタート] − [設定] − [コントロールパネル] を選択する

9 [インターネットオプション] アイコンをダブルクリックする

10 [接続] タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は [ダイヤルしない] を選択する



11 [OK] をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

続けて **2-9 ページ**へお進みください。

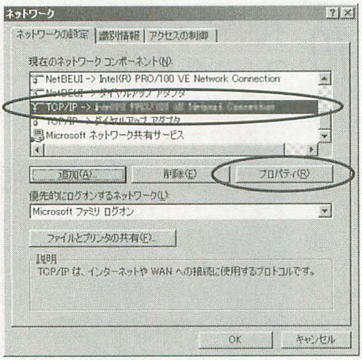
2 パソコンのネットワーク設定

2-5 Windows® Me/98SE をご利用の場合

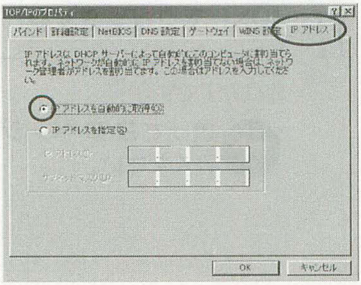
1 [スタート] – [設定] – [コントロールパネル] を選択する

2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックする

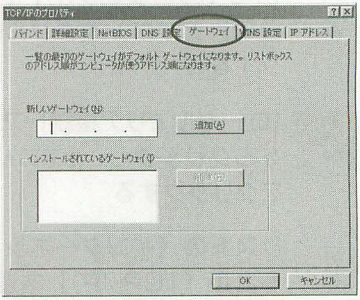
3 リストの [TCP/IP–> お使いの LAN カード（またはお使いの LAN ボード）] を選択し、[プロパティ] をクリックする



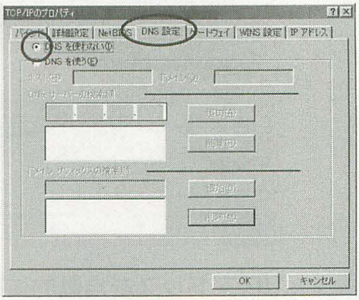
4 [IP アドレス] タブをクリックし、[IP アドレスを自動的に取得] を選択する



5 [ゲートウェイ] タブをクリックし、何も指定されていないことを確認する



6 [DNS 設定] タブをクリックし、[DNS を使わない] を選択する



7 [OK] をクリックする

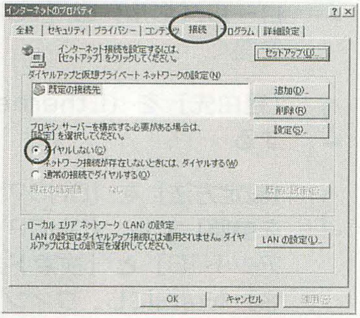
8 [OK] をクリックする

手順 4 ～ 6 で設定を変更した場合は、「再起動」を促すメッセージが表示されます。また、設定を有効にするためには、再起動が必要です。

9 [スタート] – [設定] – [コントロールパネル] を選択する

10 [インターネットオプション] アイコンをダブルクリックする

11 ［接続］タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は［ダイヤルしない］を選択する



12 ［OK］をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

続けて 2-9 ページへお進みください。

2 設定 パソコンのネットワーク

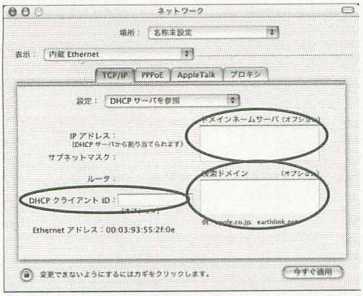
2-6 Mac® OS をご利用の場合

■ Mac® OS X をご利用の場合

1 アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する

2 ［TCP/IP］タブをクリックして、［表示］を［内蔵 Ethernet］にし、［設定］を［DHCP サーバを参照］にする

3 ［DHCP クライアント ID］と［ドメインネームサーバ］、［検索ドメイン］を空白にする



画面は、Mac® OS X 10.1 を事例に記載したものです。

4 ［今すぐ適用］をクリックし、ウィンドウを閉じる

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

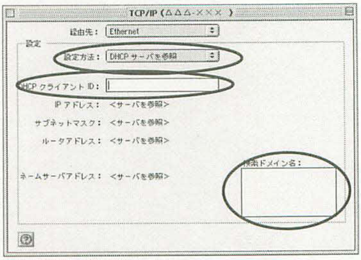
続けて **2-9** ページへお進みください。

■ Mac® OS 9.x/8.x をご利用の場合

1 アップルメニューの［コントロールパネル］の［TCP/IP］を開く

2 ［経由先］を［Ethernet］にする

3 ［設定方法］を［DHCP サーバを参照］にし、［DHCP クライアント ID］と［検索ドメイン名］を空白にし、ウィンドウを閉じる



画面は、Mac® OS 9.2 を事例に記載したものです。

4 確認のダイアログが表示されたら［保存］をクリックする

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

続けて **2-9** ページへお進みください。

2-7 パソコンとの接続を確認する

本商品とパソコンの接続を確認する

本商品のIPアドレスは、初期状態で「192.168.1.1」に設定されています。IPアドレスを変更する場合は、本商品に付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」(HTMLファイル)の「Web設定」の「LAN側設定」をご覧ください。

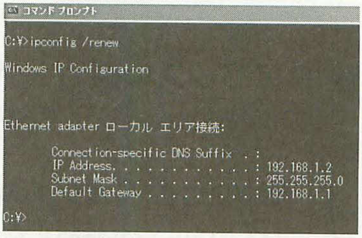
■IPアドレスの確認 ― Windows® XPの場合

1 本商品のLANランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの[スタート]―[すべてのプログラム]―[アクセサリ]―[コマンドプロンプト]を実行する

3 [コマンドプロンプト]の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力し、[Enter]キーを押す

4 [Ethernet adapter ローカルエリア接続:]が表示され、IPアドレス(IP Address)が「192.168.1.×××」になっていることを確認する(×は1を除く任意の数字です)



5 「exit」と入力し、[Enter]キーを押す

➡ 続けて **3-1 ページ**へお進みください。

■IPアドレスの確認 ― Windows® 2000の場合

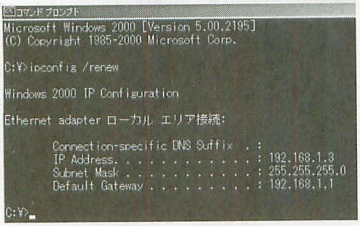
1 本商品のLANランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの[スタート]―[プログラム]―[アクセサリ]―[コマンドプロンプト]を実行する

3 [コマンドプロンプト]の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力して[Enter]キーを押す

(次ページに続く)

4 [Ethernet adapter ローカルエリア接続：] が表示され、IPアドレス（IP Address）が[192.168.1.×××] になっていることを確認する（×は1を除く任意の数字です）



5 「exit」と入力し、[Enter] キーを押す

続けて **3-1 ページ**へお進みください。

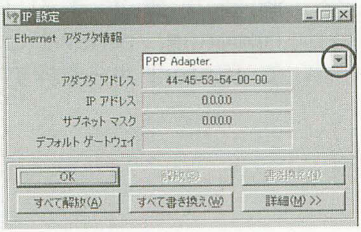
■IPアドレスの確認 － Windows® Me/98SEの場合

パソコンの電源が入っている場合は、いったんパソコンを再起動してから確認してください。

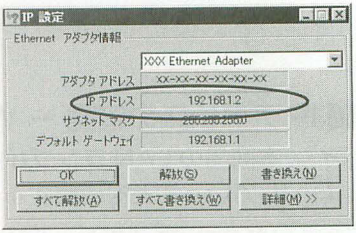
1 本商品のLANランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの [スタート] から [ファイル名を指定して実行] をクリックし、「winipcfg」と入力後、[OK] をクリックする

3 下の画面が表示されたら、▼ をクリックし、お使いのLANカード／ボードを選択する



4 IPアドレスが [192.168.1.×××] となっていることを確認する（×は1を除く任意の数字です）



5 [OK] をクリックする

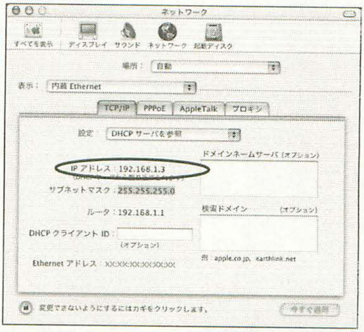
続けて **3-1 ページ**へお進みください。

■IP アドレスの確認 － Mac® OS X の場合

1 本商品の LAN ランプが緑点灯していることを確認する

2 アップルメニューから［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する

3 ［TCP/IP］タブをクリックして、IP アドレスが［192.168.1.×××］になっていることを確認する（×は 1 を除く任意の数字です）



画面は、Mac® OS 10.1 を事例に記載したものです。

4 ウィンドウを閉じる

➡ 続けて **3-1 ページ**へお進みください。

■IP アドレスの確認 － Mac® OS 9.x/8.x の場合

1 本商品の LAN ランプが緑点灯していることを確認する

2 アップルメニューから［コントロールパネル］→［TCP/IP］を選択する

3 IP の設定画面が表示されたら、IP アドレスが「192.168.1.×××」になっていることを確認する（×は 1 を除く任意の数字です）



画面は、Mac® OS 9.2 を事例に記載したものです。

4 ウィンドウを閉じる

➡ 続けて **3-1 ページ**へお進みください。

3 インターネットへの接続

Webブラウザを使ってインターネットに接続するための設定を行います。

3-1 本商品の設定をする（ADSL モデム内蔵ルータとして利用する場合）

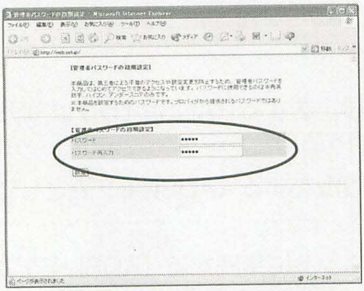
Web ブラウザ（Internet Explorer）を使って本商品の基本的な設定をすることができます。
あらかじめ本商品とパソコンなど使用する機器を接続しておきましょう。

1 **Web ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、「Web 設定」のページを開く**

本商品の IP アドレスを入力して開くこともできます。
（工場出荷時は 192.168.1.1 です）
例：http://192.168.1.1/

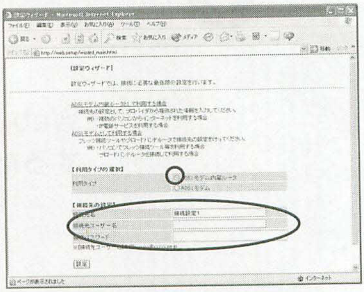
2 **管理者パスワードの初期設定を行う**

画面に従って管理者パスワードを設定してください。



3 **［設定］をクリックする**

4 **プロバイダ情報に従って接続先ユーザー名、接続パスワードを入力する**



接続先ユーザー名：
　プロバイダの資料に従って接続先ユーザー名を入力します。
　例：xxxxx@xxxxx.ne.jp
接続パスワード：
　プロバイダの資料に従って接続パスワードを入力します。

5 **［設定］をクリックする**

以降画面に従って Web ブラウザを終了させてください。

3-5 ページへお進みください。

お知らせ

- 「ADSLモデム内蔵ルータ」を選択した場合、フレッツ・ADSLご契約時に送付される「フレッツ接続ツール」のインストールは必要ありません。
- 前ページの手順２～５は本商品が工場出荷状態にある場合のみ実行可能です。初期設定後に、設定内容の確認や変更のため「Web設定」を開く際は、管理者パスワードの入力が必要となります。手順２で設定した管理者パスワードを入力してログインしてください。
- 説明に使用している画面表示は、お使いのWebブラウザやお使いのOSによって異なります。
- 対応するブラウザについては「Webブラウザの準備」（☛1-5ページ）をご覧ください。
- 「Web設定」の画面デザインは変更になることがあります。
- 管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者パスワード＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

管理者パスワードは上記の下線の箇所に記載しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、本商品を初期化して設定を初めからやり直してください。（☛5-8ページ）

3-2 本商品の設定をする（ADSL モデムとして利用する場合）

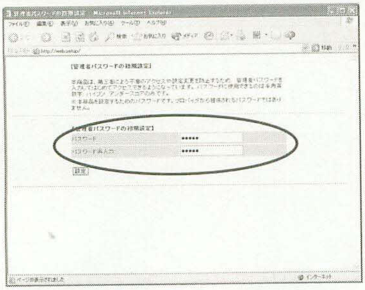
Web ブラウザ（Internet Explorer）を使って本商品の基本的な設定をすることができます。
あらかじめ本商品とパソコンなど使用する機器を接続しておきましょう。

1 Web ブラウザを起動し、「http://web.setup/」と入力し、「Web 設定」のページを開く

本商品の IP アドレスを入力して開くこともできます。
（工場出荷時は 192.168.1.1 です）
例：http://192.168.1.1/

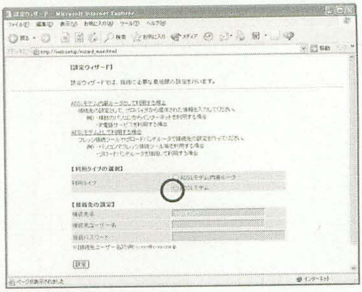
2 管理者パスワードの初期設定を行う

画面に従って管理者パスワードを設定してください。



3 ［設定］をクリックする

4 「ADSL モデム」を選択する



5 ［設定］をクリックする

以降画面に従って Web ブラウザを終了させてください。

3-6 ページへお進みください。

お知らせ

- 「ADSL モデム」を選択した場合、IP 電話機能をご利用できません。
- 本ページの手順 2 ～ 5 は本商品が工場出荷状態にある場合のみ実行可能です。初期設定後に、設定内容の確認や変更のため「Web 設定」を開く際は、管理者パスワードの入力が必要となります。手順 2 で設定した管理者パスワードを入力してログインしてください。
- 説明に使用している画面表示は、お使いの Web ブラウザやお使いの OS によって異なります。
- 対応するブラウザについては「Web ブラウザの準備」（☛1-5 ページ）をご覧ください。
- 「Web 設定」の画面デザインは変更になることがあります。
- 管理者パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。

管理者パスワード＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
管理者パスワードは上記の下線の箇所に記載しておくことをお勧めします。
忘れた場合は、本商品を初期化して設定を初めからやり直してください。（☛5-8 ページ）

3-3 インターネットに接続する（ADSL モデム内蔵ルータとして利用する場合）

Web ブラウザを使用してインターネットに接続してみましょう。

1 Web ブラウザ（Internet Explorer など）を起動する

本商品の PPP ランプが緑点灯していることを確認してから起動してください。

2 インターネット上のホームページを開く

お知らせ

- 「ADSL モデム内蔵ルータとして利用する場合」の手順に従って設定した場合は、フレッツ・ADSL ご契約時に送付される「フレッツ接続ツール」のインストールは必要ありません。
- PPPoE ブリッジ機能でのみ接続している場合は、PPP ランプは緑点灯しません。ADSL ランプが緑点灯していることを確認してください。
- 接続モードを要求時接続に設定してる場合、無通信時には PPP ランプが消灯していますので、ADSL ランプが緑点灯していることを確認してください。
- インターネット接続用の接続先が接続されていなくても、他の接続先が接続されていれば PPP ランプは緑点灯しますのでご注意ください。
- 本商品では、PPPoE マルチセッション機能を利用して 1 回線で複数の接続先へ同時に接続することができます。設定方法の詳細については、付属の CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」をご覧ください。

3-4 インターネットに接続する（ADSLモデムとして利用する場合）

Webブラウザを使用してインターネットに接続してみましょう。
パソコンからインターネットへの接続方法については、「フレッツ・ADSL超カンタン設定ガイド」などをご覧ください。

※本商品に「フレッツ・ADSL超カンタン設定ガイド」は同梱されていません。

1. **Webブラウザ（Internet Explorerなど）を起動する**
   本商品のADSLランプが緑点灯していることを確認してから起動してください。

2. **インターネット上のホームページを開く**

お知らせ

- **「ADSLモデムとして利用する場合」の手順に従って設定した場合は、IP電話機能をご利用できません。** IP電話機能を利用する場合は、必ず「ADSLモデム内蔵ルータとして利用する場合」の手順に従って設定してください。（☛2-2ページ）
- 「ADSLモデムとして利用する場合」の手順に従って設定した場合は、インターネット接続時、PPPランプは緑点灯しません。
- 本商品の「Web設定」ページを開いて、ADSLモデム内蔵ルータに設定変更することもできます。設定方法の詳細については、付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」をご覧ください。

4 IP電話の使いかた

IP電話をご利用になるときのご注意やIP電話の使いかたについて説明します。
詳細については、本商品に付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」をご覧ください。

4-1 IP電話の設定について

IP電話をご利用いただくためには、別途プロバイダとのIP電話サービス契約および本商品へのIP電話設定が必要です。本商品へのIP電話設定は、プロバイダのホームページ等から自動的に行うことができます。
ただし、プロバイダによっては、別途プロバイダから送付された設定情報を本商品の設定画面から入力していただく必要があります。

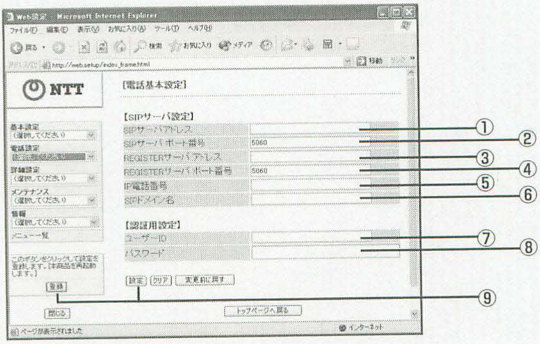
※IP電話の設定は、必ずインターネットに接続したあとに設定してください。

IP電話の設定方法は、各プロバイダのIP電話サービスにより異なりますのでご契約のプロバイダのホームページ等でご確認のうえ、設定を行ってください。なお、本商品の「対応プロバイダ」が提供するIP電話サービスのホームページへは、下記のURLからアクセスが可能です。

【NTT東日本】http://flets.com/ipphone/
【NTT西日本】http://www.ntt-west.co.jp/flets/ipphone/

本商品の設定画面からIP電話設定を行うようにプロバイダから指示されている場合のみ、本ページおよび次ページの記載に従って各項目の設定を行ってください。
※プロバイダのホームページに記載されている指示に従ってIP電話の設定を自動的に行うことができる場合は、本ページおよび次ページのIP電話の設定を行わないでください。その場合は、『4-2　電話機能の設定について』（☛4-4ページ）へお進みください。

Webブラウザで本商品の「Web設定」ページを開き、メニューの［電話設定］-[電話基本設定]から、IP電話サービスに接続するための設定を行います。



【SIP サーバ設定】

①SIP サーバアドレス	プロバイダから指定された SIP サーバアドレスを入力してください。
②SIP サーバポート番号	プロバイダから指定された SIP サーバポート番号を入力してください。特にプロバイダから指示のない場合は、初期値（5060）を変更しないでください。
③REGISTER サーバアドレス	プロバイダから指定された REGISTER サーバアドレスを入力してください。
④REGISTER サーバポート番号	プロバイダから指定された REGISTER サーバポート番号を入力してください。特にプロバイダから指示のない場合は、初期値（5060）を変更しないでください。
⑤IP 電話番号	プロバイダから指定された IP 電話番号を入力してください。　（例）「05011112222」（数字のみ）
⑥SIP ドメイン名	プロバイダから指定された SIP ドメイン名を入力してください。

【認証用設定】

⑦ユーザー ID	プロバイダから指定された IP 電話用のユーザー ID を入力してください。
⑧パスワード	プロバイダから指定された IP 電話用のパスワードを入力してください。

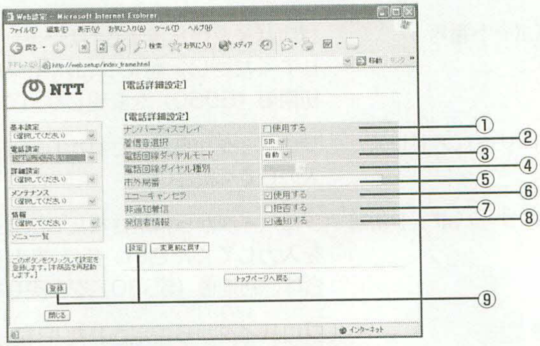
⑨［設定］をクリックし、［登録］をクリックしてください。設定内容が保存され、本商品が再起動します。
本商品前面の VoIP ランプが緑点灯すれば、IP 電話が利用可能となります。

お知らせ

● **「ADSL モデムとして利用する場合」の手順に従って設定した場合は、IP 電話機能をご利用できません。** IP 電話機能を利用する場合は、必ず「ADSL モデム内蔵ルータとして利用する場合」の手順に従って設定してください。（☛2-2 ページ）

4-2 電話機能の設定について

Webブラウザで本商品の「Web設定」ページを開き、メニューの［電話設定］－［電話詳細設定］から、電話機能に関する設定を行います。



【電話詳細設定】

①ナンバーディスプレイ

電話機ポートに接続する電話機のナンバーディスプレイ機能をご利用になる場合は「使用する」にチェックしてください。（初期値：使用しない）

②着信音選択

IP電話の着信音（IR/SIR）を設定します。（初期値：SIR）

IR：着信音が「1秒あり＋2秒なし」を繰り返します。加入電話と同じ着信音です。

SIR：着信音が「0.3秒あり＋0.3秒なし＋0.3秒あり＋2.1秒なし」を繰り返します。

③電話回線ダイヤルモード

加入電話で使用している回線ダイヤル種別を自動認識させるか、手動設定するかを設定します。（初期値：自動）

通常は「自動（初期値）」のままでご使用ください。

④電話回線ダイヤル種別

電話回線ダイヤルモードを「手動」に設定した場合に、加入電話の回線ダイヤル種別（DP 10pps/DP 20pps/PB）を設定します。（初期値：PB）

⑤市外局番

契約されている加入電話の市外局番を入力します。

⑥エコーキャンセラ

IP電話として通話する場合に、エコーキャンセラを使用するかしないかを設定します。（初期値：使用する）

通常は「使用する（初期値）」のままでご使用ください。

⑦非通知着信

IP電話として着信する場合に、発信者情報（番号）が非通知の着信を拒否するかしないかを設定します。（初期値：拒否しない）

⑧発信者情報　　IP電話として発信する場合に、通常ダイヤル時に発信者情報（番号）を通知するかしないかを設定します。（初期値：通知する）

⑨［設定］をクリックし、［登録］をクリックしてください。設定内容が保存され、本商品が再起動します。
本商品前面のVoIPランプが緑点灯すれば、IP電話が利用可能となります。

お知らせ

［ナンバーディスプレイについて］
- 加入電話のナンバー・ディスプレイサービスおよびIP電話のナンバーディスプレイの機能をご利用になるには、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
- 加入電話でナンバー・ディスプレイサービスをご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。
- IP電話でナンバーディスプレイ機能をご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約は必要ありません。
- IP電話として通話中に、加入電話としての着信があった場合は、発信者情報（番号）が表示されません。

［着信音選択について］
- 本商品の電話機ポートに接続した電話機で、着信音を「メロディ」等に設定している場合に、本商品の「着信音選択」を「SIR」に設定すると、正常に着信音が鳴らないことがあります。その場合は、本商品の「着信音選択」を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。
- IP電話としての着信と加入電話としての着信で、鳴り分けは可能ですが、加入電話の「なりわけサービス」をご契約の場合、本商品の設定によっては、加入電話の着信音とIP電話の着信音が区別できない可能性があります。

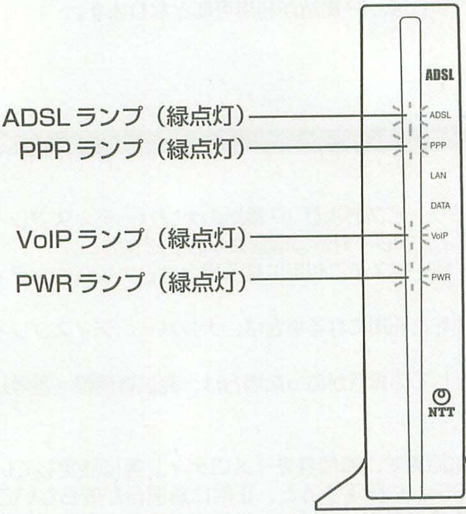
［電話回線ダイヤルモード／電話回線ダイヤル種別について］
- 「電話回線ダイヤルモード」を「自動」に設定した場合、本商品の起動時に回線ダイヤル種別の自動認識を行います。本商品の電源を入れる前に、ADSLスプリッタ（LINEポート）とADSL回線（モジュラージャック）、およびADSLスプリッタ（PHONEポート）と本商品の電話回線ポートが正しく接続されていることを確認してください。
- ご使用環境によっては、「電話回線ダイヤルモード」を「自動」に設定すると、回線ダイヤル種別が正しく認識できず、加入電話として発信できなくなる場合があります。その場合は、「電話回線ダイヤルモード」を「手動」に設定した後、加入電話の回線ダイヤル種別に合わせて、「電話回線ダイヤル種別」を「DP 10pps」、「DP 20pps」、「PB」のいずれかに設定してください。
- 本商品の電話機ポートに接続した電話機の回線ダイヤル種別も、加入電話の回線ダイヤル種別に合わせて設定してください。

［市外局番について］
- 「市外局番」を入力した場合は、市内の加入電話番号へIP電話としてかけるときに市外局番をつけなくてもかけられます。
- 「市外局番」を入力しない場合は、市内の加入電話番号へIP電話としてかけるときに必ず市外局番をつけてかけてください。（市外局番をつけない場合はかけられません）
- 「市外局番」に間違った番号を設定すると、正しい発信ができない場合があります。
- お客様の市外局番が変更となるときは、設定変更が必要となります。

4-3 IP 電話の使いかた

ランプの確認

インターネット接続の設定および、IP 電話の設定が完了したら、本商品のランプ表示が下記のようになっていることを確認してください。



ご注意

本商品前面の VoIP ランプが緑点灯の状態でない場合は、IP 電話のご利用はできません。必ず IP 電話サービスを提供するプロバイダからのご案内等をご参照のうえ、サービス契約および設定を行ってください。また、IP 電話にてご利用いただける接続先は、契約しているプロバイダのサービス内容によります。詳しくは、契約しているプロバイダにご確認ください。

STOP お願い

●IP 電話をご利用の場合は、本商品の接続モードを「常時接続」（初期値）でお使いください。

発信時に聞こえる音とランプの表示について

ダイヤルされた番号により IP 電話と加入電話を自動的に選択します。
どちらを選択したかは、ダイヤルした後ハンドセットから聞こえる音や本商品前面の VoIP ランプの表示によって識別できます。

通話状態	パターン１	パターン２	パターン３
	IP 電話として通話	IP 電話では通話不可のため 加入電話に切り替えて通話	加入電話として通話
発信時に 聞こえる音	ププププ、 トゥルルルル…	ププププ、プー トゥルルルル…	トゥルルルル…
通話中の VoIP ランプの表示	緑点滅	橙点滅	
通話料金	IP 電話通話料 ご契約のプロバイダから 請求されます。	加入電話通話料 NTT 東日本・NTT 西日本またはマイライン・マイラインプラスに登録された電話会社から請求されます。	
通知できる 発信者情報 （番号）	IP 電話番号 ご契約のプロバイダから 付与された電話番号	加入電話番号	
通話できる 相手	ご契約のプロバイダのサービス内容をご確認ください。 ※IP 電話サービスによって、サービス対象（IP 電話として通話可能な相手先番号）が異なります。 ※IP 電話ではつながらない番号（サービス対象外の番号）をダイヤルした場合は、加入電話としての発信に切り替わる場合があります。 ※停電時や本商品の電源が入っていないときは加入電話としての発信になります。		下記の番号は、常に加入電話として発信します。 ・110 番、119 番等の緊急通話 ・0000+ 相手先電話番号 ・117 番、177 番等のサービス ・# で始まるダイヤル ※184、186 は除きます。

電話のかけかた

IP電話としてかける

①本商品前面のVoIPランプが緑点灯していることを確認します。
②ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
③相手の電話番号をダイヤルします。
例：03　1234　5678
通常通り電話番号をダイヤルすると、IP電話として発信します。
※緊急通話（110番や119番等）等は、必ず加入電話としての発信になります。（前ページの表の『パターン3』をご確認ください）
※IP電話の場合には、必ず呼び出し音の前に「プププ」音が鳴りますので確認してください。IP電話で接続できない相手先の電話番号の場合は、自動的に加入電話としての発信に切り替わる場合があります。その場合は、「プププ」音のあとに「プー」という切替音が聞こえます。（自動切替される条件はIP電話サービスによって異なりますので、ご契約のプロバイダのサービス内容をご確認ください）
※IP電話として通話しているときは、本商品前面のVoIPランプが緑点滅となります。
④通話が終わったらハンドセットを置きます。

加入電話としてかける

①ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
②相手の電話番号をダイヤルします。
例：0000＋03　1234　5678
電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけてダイヤルすると、加入電話として発信します。
※加入電話として通話しているときは、本商品前面のVoIPランプが橙点滅となります。
③通話が終わったらハンドセットを置きます。

お知らせ

- 緊急通話（110番や119番等）等、加入電話として発信する場合は、本商品に加入電話回線を接続していないと通話できませんのでご注意ください。（前ページの表の『パターン2』『パターン3』をご確認ください）
- 緊急通話（110番や119番等）をかけたあと、約3分間はIP電話を使用できません。
- 本商品前面のVoIPランプ が赤点灯している場合は、なんらかの事情によりIP電話がご利用できません。
  その場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけてダイヤルすることで、加入電話として発信します。
- 本商品前面のVoIPランプ が橙点灯（「IP電話利用停止」に設定）または消灯（IP電話未設定）している場合は、相手先電話番号の前に「0000」（ゼロを4回）をつけずにダイヤルしてください。すべて加入電話として発信します。（本商品の電源が切れている場合も同様です。）

発信者情報（番号）の通知について

通知される電話番号

発信のパターン	通知される電話番号
IP 電話として発信した場合	IP 電話番号（プロバイダから付与された電話番号）
加入電話として発信した場合	加入電話番号（NTT 東日本・NTT 西日本等から付与された従来の電話番号）

電話番号の通知のされかた

発信者情報（番号）を通知するかどうかは、IP 電話としてかける場合と加入電話としてかける場合でそれぞれ以下のような条件になります。

<IP 電話としてかける場合>

● IP 電話の発信者情報（番号）通知設定
IP 電話の発信者情報（番号）を、通常ダイヤル時に通知するかしないかの設定ができます。初期値は「通知する」となっています。（『4-2　電話機能の設定について』（☛4-4 ページ）を参照してください）

● 発信時のダイヤル操作
相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）をつけて、通知するかしないかを通話ごとに指定できます。

発信者情報（番号）通知設定	ダイヤル操作		
	相手先電話番号（通常の操作）	184+ 相手先電話番号	186+ 相手先電話番号
通知する	○	×	○
通知しない	×	×	○

○：通知する　　×：通知しない

<加入電話としてかける場合>

● 加入電話回線ご契約時の内容
加入電話回線のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

● 発信時のダイヤル操作
相手先の電話番号の前に「0000」＋「184」（通知しない）または「0000」＋「186」（通知する）をつけて、通知するかしないかを通話ごとに指定できます。

契約	ダイヤル操作		
	0000 ＋相手先電話番号（通常の操作）	0000 ＋ 184+ 相手先電話番号	0000 ＋ 186+ 相手先電話番号
通常通知（通話ごと非通知）	○	×	○
通常非通知（回線ごと非通知）	×	×	○

○：通知する　　×：通知しない

お知らせ

- IP 電話では通話不可のため加入電話に切り替えて通話する場合（☛4-7 ページの表の『パターン 2』）は、加入電話としてかける場合の条件と同じになります。

電話の受けかた

電話を受ける

①相手から電話がかかってくると着信音が鳴りますので、ハンドセットを取りあげて通話します。

※IP電話として通話している場合は、前面のVoIPランプが緑点滅します。

※加入電話として通話している場合は、前面のVoIPランプが橙点滅します。

②通話が終わったらハンドセットを置きます。

通話中の着信およびキャッチホンサービスについて

着信のパターン		着信者側	発信者側
IP電話として通話中に	IP電話として着信があった場合	通話中の通話を継続します。	お話し中音が鳴ります。
	加入電話として着信があった場合(注)	割り込み音が鳴ります。ハンドセットを置くこと（オンフック）により、通話中の通話を切断し、加入電話の着信に応答することができます。	呼び出し音が鳴ります。
加入電話として通話中に	IP電話として着信があった場合	通話中の通話を継続します。	お話し中音が鳴ります。
	加入電話として着信があった場合	加入電話にキャッチホンのご契約がある場合は、通常のキャッチホンの動作をします。	呼び出し音が鳴ります。
		加入電話にキャッチホンのご契約がない場合は、通話中の通話を継続します。	お話し中音が鳴ります。

(注)本商品に接続した電話機から、本商品に接続した加入電話の電話番号に発信した場合、通話はできませんが、通話料金が発生する場合がありますのでご注意ください。

お知らせ

●加入電話回線に着信があった場合、ADSL回線による接続が途切れることがあります。ADSL回線による接続が途切れると、IP電話通話中の場合は通話が切断されます。

4-4 加入電話付加サービス等との組み合わせについて

サービス名	対応可否	制限事項
オフトーク通信サービス	○	オフトーク通信サービスの宅内装置をIP電話対応端末と単体電話機の間に接続した場合、動作しませんが、ADSLスプリッタとIP電話対応端末の間に接続した場合、通常動作します。
トリオホン	○	
短縮ダイヤル	▲	「0000」を付加してダイヤルすれば可能です。
キャッチホン	○	
キャッチホンⅡ	▲	IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中にメッセージ有りの通知が動作しません。
転送でんわ	▲	解除忘れ警告音が鳴らない可能性があります。
ボイスワープ/ボイスワープセレクト	▲	解除忘れ警告音が鳴らない可能性があります。
#ダイヤル	○	加入電話回線を自動的に選択し発信します。
二重番号サービス	○	
なりわけサービス	▲	加入電話回線の鳴り分けは可能ですが、なりわけサービスの設定と本商品の設定によっては、加入電話の着信音とIP電話の着信音が区別できない可能性があります。
モデムダイヤルイン	▲	IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中の着信の場合、発信者情報（番号）が通知されません。着信の場合、鳴り分けできません。
キャッチホン・ディスプレイ	▲	IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中の着信の場合、発信者情報（番号）が通知されません。
ナンバー・ディスプレイ	▲	IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中の着信の場合、発信者情報（番号）が通知されません。
ネーム・ディスプレイ	▲	IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中の着信の場合、発信者情報（番号）が通知されません。
ボイスボックス	○	
マジックボックス	▲	IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中にメッセージ有りの通知が動作しません。
迷惑電話おことわりサービス	○	
Lモード	▲	IP電話ダイヤル中、発信中（相手側着信音鳴動中）、通話中にメッセージ有りの通知が動作しません。

▲：動作上不都合が生じる　○：動作上問題なし

※無鳴動着信サービスには対応しておりません。
※PBダイヤルインサービスには対応しておりません。

5 付録

5-1 故障かな？と思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してください。

設置に関するトラブル

どこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

本商品前面のPWRランプは緑点灯していますか？ →NG（a参照）

↓OK

本商品前面のADSLランプは緑点灯していますか？ →NG（b参照）

↓OK

本商品前面のLANランプは緑点灯していますか？ →NG（c参照）

↓OK

パソコンのIPアドレスが設定されていますか？ →NG（d参照）
（IPアドレスの確認方法は、2-9ページを参照してください）

↓OK

Webブラウザで本商品の「Web設定」ページが表示されますか？ →NG（e参照）

↓OK

設定後、本商品前面のPPPランプが緑点灯していますか？（※） →NG（f参照）

↓OK

インターネットに接続できましたか？ →NG（g参照）

↓OK

本商品前面のVoIPランプが緑点灯していますか？ →NG（h参照）

↓OK

IP電話が使えますか？ →NG（i参照）

※上記の症状確認は、ADSLモデム内蔵ルータとしてご利用の場合です。
ADSLモデムとしてご利用の場合や、PPPoEブリッジ機能でのみ接続する場合は、本商品のPPPランプは緑点灯しません。

a.本商品前面のPWRランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
PWRランプが緑点灯しない	●電源アダプタ（電源プラグ）が壁などの電源コンセントから外れていないか確認してください。 ●電源コンセントに他の電気機器を接続して電気がきているか確認してください。 ●電源アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます） ●電源アダプタのコードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタを電源コンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

b.本商品前面のADSLランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
ADSLランプが遅い緑点滅のままで変化しない	●接続しているポート（本商品のADSL回線ポート）は正しいかを確認してください。 ●付属の電話機コードをしっかり接続してください。本商品、ADSLスプリッタおよびADSL回線のモジュラージャックに正しく差し込まれているかを確認してください。 ●ラインモードの拡張自動設定でリンク速度を接続確認中には、10分ほどかかる場合があります。詳細は付属のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」（HTMLファイル）の「Web設定」の［基本設定］－［ADSLモデム設定］をご覧ください。 ●ADSLサービスが開始されていることを確認してください。または、ADSLサービスをご契約された電話回線に接続されていることを確認してください。
ADSLランプが速い緑点滅のあと、緑点灯せずに遅い緑点滅に戻る	●ADSLはノイズにより左右されますので、下記にて確認してください。 ・電源アダプタ（電源プラグ）を延長ケーブルではなく、壁などの電源コンセントに接続して確認してください。 ・電源アダプタのコードと電話機コードが並行しないように設置して確認してください。 ・ADSL回線のモジュラージャックからADSLスプリッタ間で分岐させていないか確認してください。

c.本商品前面のLANランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
LANランプが緑点灯しない	●本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。 ●LANボードまたはLANカードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ●LANケーブルが本商品のLANポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ●本商品に付属しているLANケーブルをお使いください。 ●再度本書の『1-4　設置・接続の流れ』（☛1-6ページ）を参照して配線の確認をしてください。また、パソコンがLANボードまたはLANカードを認識しているかを確認してください。

d.パソコンのIPアドレスが設定されていない

症　状	原因と対策
パソコンのIPアドレスが「192.168.1.xxx」に設定されていない	●パソコンの設定が「IPアドレスを自動取得する」もしくは「DHCPサーバを参照」になっていることを確認してください。 パソコンのIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。起動後、2-9ページ以降を参照して再度パソコンのIPアドレスを確認してください。 b.本書2-1ページ以降を参照して、パソコンのネットワークの設定を行ってください。

5
付録

e.Webブラウザで本商品の「Web設定」ページが表示されない

症　状	原因と対策
Webブラウザで、本商品の「Web設定」ページが表示されない	●パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、『2 パソコンのネットワーク設定』（☛2-1ページ）を参照して確認してください。 ●WebブラウザやOSの設定で「プロキシサーバを使用する」になっている場合、本商品の「Web設定」ページが表示されないことがあります。 ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの［インターネットのプロパティ］の［接続］で［ダイヤルしない］が選択されていることを確認します。 ●複数固定IPサービスをご利用の場合、グローバルIPアドレスを割り付けたパソコンから本商品を設定するには「http://web.setup/」と入力しても「Web設定」ページは開きません。Webブラウザのアドレスに、接続事業者またはプロバイダから割り当てられた本商品のグローバルIPアドレス（例えばhttp://200.200.200.1/）を入力してください。
Webブラウザで、本商品の「Web設定」ページの画面が正常に表示されないまたは操作が正常にできない	●お使いのWebブラウザの設定でJavaScript®を有効に設定してください。 ●お使いのWebブラウザが本商品に対応しているか「Webブラウザの準備」（☛1-5ページ）を参照して確認してください。 ユーザー名：user

f.本商品前面のPPPランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
PPPランプが消灯している	●「Web設定」の［基本設定］－［接続先の選択設定］で、接続したい接続先の「接続可」にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web設定」の［基本設定］－［接続先設定］で、接続したい接続先の情報（接続先ユーザー名、接続パスワード）が入力されているか確認してください。 ●本商品をADSLモデムでご利用の場合は、PPPランプは消灯したままです。 ●「Web設定」の［基本設定］－［基本設定］で、「接続モード」を「要求時接続」に設定した場合、パソコンからインターネット接続を開始するまで、PPPランプは消灯したままです。
PPPランプが速い緑点滅、または遅い緑点滅をしている	●「Web設定」の［基本設定］－［接続先設定］で接続したい接続先の情報（接続先ユーザー名、接続パスワード）が、プロバイダ情報に従って、正しく設定されているか確認してください。 ・通常、接続先ユーザー名は、「xxxxx@xxxxx.ne.jp」のように@以下のプロバイダのアドレスまですべて入力します。 ・通常、接続パスワードは、大文字／小文字が区別されます。 ・接続先ユーザー名、接続パスワードに全角文字は使用できません。

g.インターネットに接続できない

症　状	原因と対策
インターネット上のホームページが開けない	●ネームサーバ（DNS サーバ）アドレスが間違っている →自動取得できないプロバイダの場合は、プロバイダから指定されたネームサーバ（DNS サーバ）アドレスをプロバイダからの情報に従って「Web 設定」画面のネームサーバ（DNS サーバ）アドレスの欄に入力してください。 ●Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバを使用する」になっている場合、ホームページが表示されないことがあります。 ●フレッツ・オフィスやフレッツ・グループアクセス／フレッツ・グループなどを利用して、プライベートネットワークを構築する場合で、そのネットワーク内に 192.168.1.xxx の IP アドレスがあると、正しく通信できないことがあります。このような場合は、本商品の LAN 側 IP アドレスを他と重複しないアドレスに設定変更してください。 ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットのプロパティ」の［接続］で［ダイヤルしない］が選択されていることを確認します。 ●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先の選択設定］で、接続したい接続先の「接続可」にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web 設定」のトップページで、接続したい接続先の「接続状態」が「回線接続中」となっていることを確認してください。

h.本商品前面の VoIP ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
VoIP ランプが赤点滅している	加入電話回線の極性が反転しています。「VoIP ランプが赤点滅している場合は」（☛1-9 ページ）を参照して、極性切替スイッチを切り替えてください。
電話機を利用していない状態で VoIP ランプが消灯している	IP 電話の設定がされていません。 契約内容に従って、IP 電話の設定を行ってください。また、インターネットに接続できているか確認してください。
電話機を利用していない状態で VoIP ランプが赤点灯している	IP 電話利用不可の状態です。 IP 電話の設定内容を確認してください。また、インターネットに接続できているか確認してください。
電話機を利用していない状態で VoIP ランプが橙点灯している	「Web 設定」の［情報］－［電話の状態と状態の変更］で［IP 電話利用停止］が設定されています。
電話機を利用している状態（通話状態）で VoIP ランプが緑点滅している	IP 電話として通話中です。
電話機を利用している状態（通話状態）で VoIP ランプが橙点滅している	加入電話として通話中です。

i.IP 電話が使えない

症　状	原因と対策
IP 電話が使えない	●本商品背面の電話機ポートと電話機が電話機コードで接続されていることを確認してください。 IP 電話では緊急通話（110 番や 119 番等）等や加入電話サービスに依存した電話番号はかけられません。 ●『4-2　電話機能の設定について』（☛4-4 ページ）で設定した内容がご自分のご利用環境と合っているか確認してください。なお、使用する電話機がホームテレホンの電話機やデジタル電話機等である場合、または電話機の AC R 機能等が動作している場合は IP 電話が正しくご利用いただけません。

ご利用開始後のトラブル

症　状	原因と対策
ADSL 接続が時々切れる	●冷蔵庫・TV・電子レンジなど、ノイズを発生させる要因がある機器の上や横に置かれている場合は、その機器から離してください。
インターネットへのアクセスが遅い	●接続先サーバが混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてから、アクセスしてください。 ●接続先のプロバイダやインターネット上の経路が他の通信で混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてからアクセスしてください。
使用可能状態において突然「IPアドレス 192.168.1.xxx は、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	●［OK］をクリックして次の手順でIPアドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう1台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 〈Windows® XPの場合〉 ①［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押します。 ③IPアドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Windows® 2000の場合〉 ①［スタート］－［プログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押します。 ③IPアドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Windows® Me/98SEの場合〉 ①［スタート］－［ファイル名を指定して実行(R)］をクリックします。 ②「winipcfg」を入力して［OK］をクリックします。 ③Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用しているEthernetアダプタ名を選択します。 ④［解放(S)］をクリックして、IPアドレスが［0.0.0.0］になることを確認します。「IPアドレスはすでに解放されています」と表示されたときは、［OK］をクリックして⑤へ進んでください。 ⑤［書き換え(N)］をクリックして、IPアドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Mac® OS Xの場合〉 ①［アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択します。 ②［TCP/IP］タブをクリックして［表示］を［ネットワークポート設定］にして、内蔵Ethernetのチェックを外し、［今すぐ適用］ボタンをクリックします。 ③再度、内蔵Ethernetのチェックを入れ、［今すぐ適用］ボタンをクリックします。 ④［表示］を「内蔵Ethernet」にして、IPアドレスが［192.168.1.×××］になることを確認します。

症　状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない	●本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。10秒以上の間隔を空けてから電源を入れてください。 パソコンにIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で確認してください。 a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れる。 起動後、2-9ページ以降を参照して再度パソコンのIPアドレスを確認する。 b.次の手順でIPアドレスを取り直してください。 〈Windows® XPの場合〉 ①[スタート] －[すべてのプログラム] －[アクセサリ] －[コマンドプロンプト] をクリックします。 ②「ipconfig /renew」と入力して、[Enter] を押します。 ③IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 〈Windows® 2000の場合〉 ①[スタート] －[プログラム] －[アクセサリ] －[コマンドプロンプト] をクリックします。 ②「ipconfig /renew」と入力して、[Enter] を押します。 ③IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 〈Windows® Me/98SEの場合〉 ①[スタート] －[ファイル名を指定して実行] をクリックします。 ②「winipcfg」と入力して [OK] をクリックします。 ③Ethernetアダプタ情報のプルダウンウィンドウから使用しているEthernetアダプタ名を選択します。 ④[解放] をクリックして、IPアドレスが [0.0.0.0] になっていることを確認します。[IPアドレスはすでに解放しています] と表示されたときは [OK] をクリックして、⑤へ進んでください。 ⑤[書き換え] をクリックして、IPアドレスが [192.168.1.xxx] になることを確認します。 〈Mac® OS Xの場合〉 ①[アップルメニュー] から [システム環境設定] を開き、[ネットワーク] アイコンを選択します。 ②[TCP/IP] タブをクリックして [表示] を [ネットワークポート設定] にして、内蔵Ethernetのチェックを外し、[今すぐ適用] ボタンをクリックします。 ③再度、内蔵Ethernetのチェックを入れ、[今すぐ適用] ボタンをクリックします。 ④[表示] を「内蔵Ethernet」にして、IPアドレスが [192.168.1.×××] になることを確認します。

5-2 本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して工場出荷時の状態に戻すことをいいます。「Web 設定」で初期化することもできます。詳細は本商品に付属の CD-ROM に収録されている「機能詳細ガイド」（HTML ファイル）の「Web 設定」をご覧ください。
本商品が正常に動作しない場合や今までとは異なる回線に接続し直す場合、または管理者パスワードを忘れたり、IP アドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
いったん初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますのでご注意ください。
IP 電話に関する設定もすべて消去されてしまいますので、設定をやり直してください。

■設定初期化について

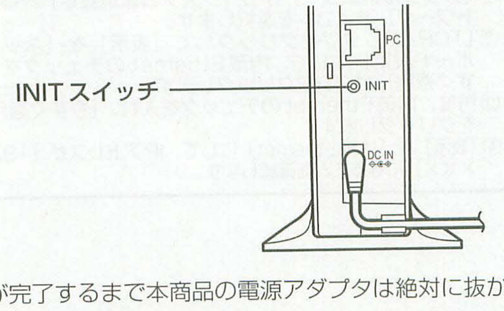
本商品の設定初期化は、下記の手順で行います。

1 いったん本商品の電源アダプタを抜く

2 電源アダプタを差し込む

3 PPP ランプが緑点灯している間に INIT スイッチを押す（本商品の PWR ランプ以外の全ランプが緑点滅を開始するまで押し続ける）

本商品の PWR ランプ以外の全ランプが緑点滅したあと、全ランプが緑点灯して工場出荷状態に初期化されます。
ADSL ランプが緑点滅を開始したら、初期化は完了です。



※初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。

お知らせ

- 本商品が工場出荷状態（初期化された状態）の場合、電源を入れるとセルフテスト実行により PPP ランプが数秒間緑点灯後、本商品の全ランプが約 5 秒間緑点灯します。
- 本商品に設定する接続先ユーザー名や接続パスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分お気をつけください。本商品を当社に返却したり廃棄したりする場合等、本商品の利用をやめる際は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。

5-3 本商品のバージョンアップ

本商品のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。
※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。

■ファイルを指定してバージョンアップする

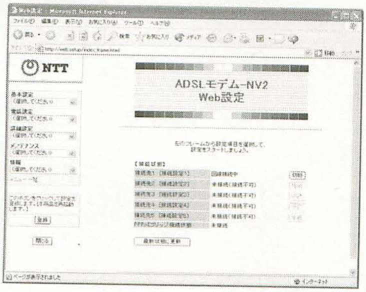
「Web 設定」を利用して本商品のバージョンアップを行うことができます。バージョンアップファームウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは、以下のホームページを参照してください。

当社のホームページ　http://www.ntt-east.co.jp/ced/
　　　　　　　　　　http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

バージョンアップファームウェアをダウンロードしたあとで、以下の操作を行います。

1 最新のファームウェアを当社のホームページよりダウンロードする

2 「Web 設定」を起動する

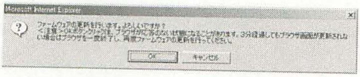


3 ［メンテナンス］の をクリックし、［ファームウェア更新］をクリックする

4 ［ファイル指定］の［参照］をクリックし、ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する

［現在のバージョン］には、本商品の現在のファームウェアバージョンが表示されています。

5 ［更新］をクリックし、［OK］をクリックする



しばらくすると、「Web 設定」ページの画面に「ファームウェア更新中のため絶対に電源を OFF にしないでください」と表示されます。

! ファームウェア更新中は絶対に電源を OFF にしないでください。

6 ［OK］をクリックする

PWR ランプが緑点灯していることを確認してください。



■自動アップデート

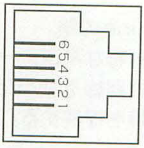
本機能については今後提供予定となっております。（2004年1月現在）
詳細については当社のフレッツ公式ホームページをご確認ください。

お願い

- バージョンアップを行うと通信は切断します。
  バージョンアップを行う前に、LAN側につないだパソコンなどの通信やIP電話の通話は終了させてください。
- バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。故障の原因となることがあります。
- このバージョンアップは、すべての機能のバージョンアップを保証するものではありません。
- バージョンアップする前に現状の設定値を保存しておくことをお勧めします。
- 本商品の機能がバージョンアップされ、取扱説明書等の記載事項に変更・追加が生じた場合、それらもバージョンアップされ、当社のホームページに公開されます。
  最新の取扱説明書等が必要なときは、こちらもあわせてダウンロードしてください。

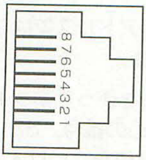
5-4 インタフェース

コネクタ形状



●ADSL 回線ポート、電話回線ポート、電話機ポート

ピン番号	略称	入出力
1	–	未使用
2	–	未使用
3	L2	入力/出力
4	L1	入力/出力
5	–	未使用
6	–	未使用



●LAN ポート
（100BASE-TX ／ 10BASE-T）

ピン番号	略称	入出力
1	TD＋	入力
2	TD－	入力
3	RD＋	出力
4	–	未使用
5	–	未使用
6	RD－	出力
7	–	未使用
8	–	未使用

5-5 用語集

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、本商品に付録のCD-ROMに収録されている「機能詳細ガイド」を参照してください。

【アルファベット順】

ADSL	Asymmetric Digital Subscriber Lineの略。 上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、すでに一般家庭に普及している電話回線を使ってインターネットへの高速で安価な常時接続環境を提供する。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略。 TCP/IPプロトコルを使用する各機器は、固有のIPアドレスを持つ必要がある。DHCPは、IPアドレスを各端末に自動的に割り振るためのプロトコル。DHCPサーバからIPアドレスを取得する場合、IPアドレスに加えて、デフォルトゲートウェイやドメイン名など、IPアドレス以外の情報も取得可能であり、ネットワークの設定、管理が容易になる。
DNS	Domain Name Systemの略。IPアドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能。
IPアドレス	インターネット接続などのTCP/IPを使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32 bitの値をもち、8 bitずつ10進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する。(例：192.168.1.10)
IPマスカレード	NAT（IPアドレス変換）機能の1つで、ポート番号を動的に割り当てることにより、1つのWAN側アドレスに対して複数のLAN側の端末を接続することが可能となる機能。
LAN	Local Area Networkの略。1つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
MACアドレス	ネットワーク上で機器の区別をするためにハードウェア（LANカードなど）につけられた固有のアドレス。利用者がこのアドレスの値を決めることはできない。
PPP	Point to Point Protocolの略。遠隔地にある2台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線やINSネット64回線を使ってインターネット接続するために使われる。
PPPoE	PPP over Ethernetの略。ADSLなどの常時接続型サービスで使用されるユーザー認証技術。Ethernet上でダイヤルアップ接続（PPP接続）と同じように利用者の接続先ユーザー名や接続パスワードのチェックを行う。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。 インターネットやLANで一般的に使われているプロトコル。

VoIP	Voice over Internet Protocolの略。 インターネットやイントラネットのようなIPネットワーク上で音声通話を実現する技術のことを指す。 社内LANを使った内線電話やインターネット電話などに応用される。
10BASE-T	Ethernetの通信方式の1つで、ツイストペアケーブルを使い、10 Mbit/sの伝送速度をもつ。
100BASE-TX	Ethernetの通信方式の1つで、ツイストペアケーブルを使い、100 Mbit/sの伝送速度をもつ。

【あいうえお順】

【か行】

クライアント	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を受けるコンピュータ。

【さ行】

サーバ	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上ではWebサーバがホームページ情報を提供する。
静的IPマスカレード	IPマスカレード使用時に、設定したポート番号の変換を行わないようにする機能で、LAN側の端末を特定する。ネットワークゲームを行うときなどに使用する。

【は行】

プロトコル	通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）どうしが正しく通信できるようにするための約束ごと。

【ら行】

ルータ	複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。

5　付録

5-6 索引

5-7 仕様一覧

■ ADSL モデム-NVII

■ ハードウェア仕様		
項　目		仕　様
ADSL 回線ポート	物理インタフェース	6 ピンモジュラージャック（RJ-11）
	ポート数	1 ポート
	規格	Quad Spectrum 方式 ITU-T G.992.1 Annex C ／ Annex I ITU-T G.992.2 Annex C
LAN ポート	物理インタフェース	8 ピンモジュラージャック（RJ-45）
	ポート数	1 ポート
	規格	100BASE-TX ／ 10BASE-T（IEEE802.3u ／ 802.3）
	全二重／半二重	オートネゴシエーション
	MDI ／ MDI-X	MDI-X 固定
電話回線ポート	物理インタフェース	6 ピンモジュラージャック（RJ-11）
	ポート数	1 ポート
	ダイヤル種別	DP ／ PB 自動認識
電話機ポート	物理インタフェース	6 ピンモジュラージャック（RJ-11）
	ポート数	1 ポート
	供給電圧	約－ 48 V（無負荷時）
ランプ表示	ADSL	ADSL リンク確立時緑点灯（※）
	PPP	セルフテスト時緑点灯（テスト完了時消灯）、 PPP セッション確立時緑点灯（※）
	LAN	LAN リンク確立時緑点灯
	DATA	LAN データ通信時緑点灯
	VoIP	IP 電話利用可能時緑点灯
	PWR	電源通電時緑点灯
操作部	INIT	設定初期化用スイッチ
	NOR/RVS	電話回線ポート極性反転スイッチ
筐体外観		縦置き型
動作環境		温度：5 ～ 40 ℃　湿度：5 ～ 85 %（結露しないこと）
外形寸法		約 35（W）× 174（D）× 180（H）mm（突起部分を除く）
電源		AC100 V ± 10 V　50/60 Hz
消費電力		最大 14 W
質量		約 0.9 kg（電源アダプタ含む）
電磁妨害波規格		VCCI クラス B

（※）ラインモードの拡張自動設定でリンク速度を接続確認中には、ADSL ランプと PPP ランプが同時に緑点滅します。

■ ソフトウェア仕様

項　目		仕　様
ルータ機能	WANプロトコル	PPPoE（PPP over Ethernet）
	PPP認証	自動認証（CHAP/PAP）／CHAP固定／PAP固定
	PPP接続／切断	常時接続（自動接続）／要求時接続（無通信時切断）
	接続先数	登録：５箇所、同時接続：３箇所
	ルーティング方式	スタティックルーティング（最大40経路）、ダイナミックルーティング（RIP／RIP2）：LAN側のみ
	DHCPサーバ機能	有り（最大255アドレス割当）
	Proxy DNS機能	有り（LAN側DNSサーバ指定可）
	NAT機能	IPマスカレード：最大2048セッション、静的NAT：最大20アドレス
	静的IPマスカレード機能	有り（ポート番号の範囲指定可）
	ユニバーサルプラグアンドプレイ（UPnP）機能	有り
	DMZホスト機能	有り（LAN側IPアドレス指定による）
	複数固定IPサービス対応機能	有り
	パケットフィルタ機能	フィルタ種別、送信元IPアドレス、宛先IPアドレス、プロトコル種別、送信元ポート、宛先ポート、方向指定可能
	セキュリティ保護機能	不正アクセス拒否機能（LAND攻撃、smurf攻撃、IP Spoofing攻撃）、不正アクセス検出機能（LAND攻撃、smurf攻撃、IP Spoofing攻撃）
ブリッジ機能	ブリッジ対象	PPPoEパケット、IPv6パケット
VoIP機能	接続手順	SIP
	音声CODEC	ITU-T G.711 μ-law
	エコーキャンセラ	ITU-T G.165
設定・保守機能	設定方法	Webブラウザによる設定・保守
	状態表示機能	ADSL回線状態、ADSL側IPアドレス、バージョン情報他
	時計機能	有り（NTPサーバによる自動時刻設定可）
	ログ機能	有り
	設定値の保存・復元機能	ファイルに保存、ファイルからの復元
	ソフトウェアバージョンアップ機能	Webブラウザを使用、電話機を使用

■ ADSLスプリッタ（スプリッタセットの場合に付属）

■ 仕様

項目			仕様
インタフェース	回線インタフェース	物理インタフェース	6ピンモジュラージャック（RJ-11）
		ポート数	1ポート
	ADSLモデム用インタフェース	物理インタフェース	6ピンモジュラージャック（RJ-11）
		ポート数	1ポート
	電話機用インタフェース	物理インタフェース	6ピンモジュラージャック（RJ-11）
		ポート数	1ポート
適用回線			フレッツ・ADSL、ADSL接続サービス
外形寸法			約43（W）×58（D）×24（H）mm （突起部分を除く）
質量			約50 g
動作環境			温度：5～40℃ 湿度：5～85％（結露しないこと）

5
付録

5-8 お客様サポート・保守サービスのご案内

●お客様サポートについて

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

■NTT東日本エリア（新潟県、長野県、山梨県、神奈川県以東の各都道県）でご利用のお客様

●本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ
お問い合わせ先：0120-710444（平日9:00～17:00）

●パソコンとの接続、パソコンの設定などに関するお問い合わせ
お問い合わせ先：0120-275466（24時間　年中無休）

●故障に関するお問い合わせ
お問い合わせ先：0120-242751（24時間　年中無休※）

※故障修理等の対応時間は平日9:00～17:00、土・日・祝日及び年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（富山県、岐阜県、愛知県、静岡県以西の各府県）でご利用のお客様

●本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ
お問い合わせ先：0120-109217（平日9:00～17:00）

●故障に関するお問い合わせ
お問い合わせ先：0120-248995（24時間受付）

●保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

●保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	●毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	●修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へお伺いするための費用および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますのでご了承ください。） ●当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へお伺いするための費用が不要になります。

●補修用部品の保有期間について

本商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。

●廃棄方法に関して

本商品を廃棄する際は、地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体へお問い合わせください。

MEMO

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://www.ntt-east.co.jp/ced/
http://www.ntt-west.co.jp/kiki/

NTT

本2512-1 (2004.1)
ADSLモデムNV2トリセツ

【重要】 よくお読みください

2003年12月版

IP電話サービスをご利用のお客様へ ①

IP電話サービスご利用前に、必ずご確認ください

プロバイダが提供するIP電話サービスのご契約・設定が必要です。

◆「IP電話対応機器」からご利用いただける対応プロバイダを下記URLにてご確認ください。

◆ご利用になるIP電話サービスのサービス内容をご確認ください。
（料金体系や提供条件、サービス対象となる通話先等、IP電話サービスによってサービス内容が異なりますので、ご契約のプロバイダにご確認ください。）

◆IP電話サービスをご利用いただくには、「対応プロバイダとのご契約」「IP電話対応機器の設定」が必要です。下記URLから行ってください。
※加入電話をご利用いただくためには、「IP電話対応機器」に加入電話回線の接続が必要です。

対応プロバイダ一覧　NTT東日本　http://flets.com/ipphone/pbd.html
NTT西日本　http://www.ntt-west.co.jp/flets/ipphone/isp.html

加入電話回線を接続しないと、110番・119番等にはつながりません。

◆110番や118番、119番など一部の電話番号へは、ご契約のIP電話サービスによらず自動的に加入電話として発信されるため、加入電話回線が正しく接続されていないとつながりませんのでご注意ください。

IP電話サービスから発信しない／できない時は、0 0 0 0（ゼロ4回）

◆ネットワーク障害など何らかのトラブルにより、IP電話サービスをご利用いただけない場合は、ダイヤルした後に「ピピッピピッピピッピピッ・・・」という規制音が聞こえます。

◆このときはしばらくたってかけ直すか、かけたい電話番号の前に、0 0 0 0（ゼロ4回）のダイヤルにより、加入電話として発信してください。「0000（ゼロ4回）」をダイヤルすると、強制的に加入電話として発信することができます。

◆加入電話として発信した場合は、NTT東日本・NTT西日本またはマイライン・マイラインプラスに登録された電話会社に接続されます。通話料は接続された電話会社からの請求となります。

ACR機能・LCR機能はオフにしてください。

◆ACR機能またはLCR機能（電話会社自動選択機能）のついた電話機をご利用の場合は、IP電話サービスとして発信できない場合がございますので、ACR機能またはLCR機能をオフにしてご利用ください。（設定方法等はお使いの電話機の取扱説明書等をご確認ください。）

最新のファームウェアにてご利用ください。

◆ファームウェアのバージョンによって動作が異なる機能がありますので、最新ファームウェアでご利用ください。

確認先URL　NTT東日本　http://flets.com/ipphone/
NTT西日本　http://www.ntt-west.co.jp/flets/ipphone/kiki.html

【重要】 よくお読みください

2003年12月版

IP電話サービスをご利用のお客様へ ②

「IP電話対応機器」は、IP電話サービスと加入電話サービスに対応しています

ダイヤルされた番号によりIP電話と加入電話を自動的に選択します
どちらを選択したかは、ダイヤルした後受話器から聞こえる音によって識別することができます。

発信時に聞こえる音			
音の意味	IP電話として通話します	IP電話では通話不可のため 加入電話に切り替え	加入電話として通話します
通話料金	IP電話通話料 ご契約のプロバイダから請求されます。	加入電話通話料 NTT東日本・NTT西日本またはマイライン・マイラインプラスに登録された電話会社から請求されます。	
通知できる発信者番号	IP電話番号 ご契約のプロバイダから付与された電話番号	加入電話番号	
通話できる相手	ご契約のプロバイダのサービス内容をご確認ください。 ※IP電話サービスによって、サービス対象（IP電話として通話可能な相手先番号）が異なります。 ※IP電話ではつながらない番号（サービス対象外の番号）をダイヤルした場合は、加入電話としての発信に切り替わる場合があります。 ※停電時やIP電話対応機器の電源が入っていないときは加入電話としての発信になります。		下記の番号は、常に加入電話として発信します。 110番 119番 などの緊急通話 0000＋相手先電話番号 117番 177番 などのサービス #で始まるダイヤル ※184、186は除きます

その他の注意事項についてはNTT東日本・NTT西日本のホームページ（下記URL）にてご確認ください。

確認先URL NTT東日本 http://flets.com/ipphone/
NTT西日本 http://www.ntt-west.co.jp/flets/ipphone/

※表記内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。